

ITU-R WP5D
第3回会合報告書

第1.1版

平成21年1月22日

日 本 代 表 団

ITU-R WP5D 第3回（韓国 ソウル）会合報告書 目次

1. はじめに	1
2. 会議構成	2
3. 主要結果	2
3. 1 全体の主要結果	2
3. 2 各WG等の主要結果	5
(1)WG-SERVICE ASPECTS (2)WG-TECHNOLOGY ASPECTS	
(3)WG- SPECTRUM ASPECTS (4)WG-DEVELOPING	
(5)AH-WORKPLAN (6)AH-CIRCULAR LETTER (7)AH VOCABULARY	
4. 所感及び今後の課題	5
5. 各WG等における主要論議	6
5. 1 WG-SERVICE ASPECTS	6
5. 2 WG-TECHNOLOGY ASPECTS	6
5. 2. 1 SWG M.1457	10
5. 2. 2 SWG RADIO ASPECTS	11
5. 2. 3 SWG EVAL	13
5. 2. 4 SWG M.1580 & M.1581	14
5. 3 WG-SPECTRUM ASPECTS	15
5. 3. 1 SWG SHARING	18
5. 3. 1. 1 DG BWA	30
5. 3. 1. 2 DG M.2039	30
5. 3. 1. 3 AH ACS	30
5. 3. 1. 4 AH PARAMETER	30
5. 3. 2 SWG FREQUENCY ARRANGEMENTS	30
5. 3. 2. 1 DG 1036	30
5. 4 WG-DEVELOPING	30
5. 5 AH WORKPLAN	31
5. 6 AH CIRCULAR LETTER	35
5. 7 AH VOCABULARY	35
6. Region 3非公式会合	35
7. 今後の予定等	36
7. 1 WP5D 及び関連会合の今後の開催予定	36
7. 2 次会合に向けての日本のアクション事項	36
7. 2. 1 WG-SERVICE ASPECTS 関係	36
7. 2. 2 WG-TECHNOLOGY ASPECTS 関係	37
7. 2. 3 WG-SPECTRUM ASPECTS 関係	37
付属資料1 参加国・機関と寄与文書数	38
付属資料2 ITU-R WP5D 第3回会合日本代表団名簿	40
付属資料3 日本寄書等の審議結果	42

5D/271（日本・韓国共同寄書）、5D/272（日本寄書）、5D/273（日本寄書）

付属資料4	入力文書一覧	43
付属資料5	出力文書一覧	49
付属資料6	各WGの当面のスケジュール	52

1. はじめに

IMT-2000 の高度化及びその後継システムを目指す "future development of IMT-2000 and systems beyond IMT-2000" を所掌とする ITU-R SG5 (Study Group 5) WP5D (Working Party 5D) の第3回会合が、2008年10月8日～10月15日に韓国のソウルにおいて開催されたので、その結果について報告する。

本 WP5D は、前回の WP 第2回会合同様、2008年2月18-19日にスイス、ジュネーブにおいて開催された SG5 第1回会合の結果を受けて、次回 SG5 において SG5 傘下の WP 構成及び各 WP 議長が決定するまでの暫定的処置として、暫定的 WP 構成という位置づけのもと、旧 WP8F 議長を Acting Chairman として開催された。

前回の WP5D 第2回会合（2008年6月24日～7月1日、アラブ首長国連邦(U.A.E.)、ドバイにて開催）では、IMT-Advanced の候補無線インタフェース技術提案募集に関するサーキュラーレターの追加情報の作成、IMT-Advanced の無線インタフェース技術の要求条件に関するレポート草案(IMT.TECH)及び無線インタフェースの評価手法に関するレポート草案 (IMT.EVAL) の承認を重点とし、更に、IMT-Advanced の要求条件と評価条件の概要、テスト環境、技術提案のガイドライン等を記述したレポート草案(IMT.REST)の詳細な検討、また、世界無線通信会議 2007 で特定された周波数に関する共用検討、IMT-2000 無線インタフェースの不要輻射に関する勧告(M.1580/1581)の改訂に関する議論等が行われ、結果として、無線インタフェース技術の要求条件に関するレポート草案 (IMT.TECH) は承認され次回 SG5 (2008年11月10-11日、スイス、ジュネーブにて開催予定) へ送られることとなった。また、技術提案募集に関するサーキュラーレターの追加情報も承認され発出されることとなったが、IMT.EVAL の承認及び IMT.REST の中の Technology Description Template 及び Link Budget Template の承認は次回へ持ち越された。

今回の WP5D 第3回会合では、前回承認に至らなかった IMT.EVAL の承認及び前回継続審議となった、IMT.REST の中の Technology Description Template 及び Link Budget Template を完成し、レポート草案 IMT.REST として承認することを重点として議論が行われた。また、IMT-2000 無線インタフェースの不要輻射に関する勧告(M.1580/1581)の改訂、IMT の周波数配置に関する勧告 (M.1036) の改訂、2.5GHz 帯の固定系 BWA と IMT との周波数共用に関するレポート (M.2113) の改訂に関する検討等が行われた。

なお、今会合の会合前日の10月7日に IMT-Advanced に関するワークショップが開催された。

今回の会合には、31ヶ国及び29機関から合計214名の参加（付属資料1参照）があり、そのうち、日本からは28名が参加した（付属資料2参照）。

入力文書は合計84件であり、そのうち日本から入力した寄書は3件であった（日本・韓国の共同寄書1件を含む）（付属資料3、4参照）。また、前回会合からキャリアフォワードされた文章が6件あった。

本会合における出力文書（TEMP 文書）は合計43件であった（付属資料5参照）。

2. 会議構成

各 WG 等の担当項目と議長を表 1 に示す。

日本は各 WG、SWG、AH および DG に積極的に参加し、会議の進展に貢献した。

表 1 各 WG 等の担当項目と議長

Group	担当項目	議長
WP5D	ITU-R WP5D 全体	代行 S. BLUST (米)
WG DEV (DEVELOPING ASPECTS)	途上国への適用	J. COMARGO (メキシコ)
WG SERV (SERVICES ASPECTS)	サービスとマーケット関連	K. J. WEE (韓)
WG SPEC (SPECTRUM ASPECTS)	スペクトラム関連	A. JAMIESON(ニュージーランド)
SWG – SHARING	周波数共用研究	M. KRAEMER (独)
DG-BWA	2.5GHz 帯 BWA(FBWA(M.2113 改訂 (CDMA-TDD 追加)), MBWA)	R. AREFI (米/インテル)
DG-M.2039	レポート M.2039 の改定	J. WILLIAMS (WiMAX Forum)
AH – ACS	OFDMA TDD WMAN の ACS の検討	Y. LI (仏/フランステレコム)
AH – PARAMETER	共用検討の IMT パラメータの検討	J.P. MILLET (仏)
SWG-FREQUENCY ARRANGEMENTS	周波数アレンジメント勧告 (M.1036-3)	D. MENG (中)
DG-1036	周波数アレンジメント勧告(M.1036-3)	J.COSTA (加)
WG TECH (TECHNOLOGY ASPECTS)	無線伝送技術関連	L. SUN (中)
SWG - M.1457	既存勧告の維持改定管理(無線伝送技術勧告(M.1457))	N. MAGNANI (伊)
SWG - M.1580&1581	不要輻射	U. LÖWENSTEIN (独)
SWG - RADIO ASPECTS	無線関連技術	M. GRANT (米)
SWG - EVAL	無線インタフェース評価基準 [IMT.EVAL]	H. WANG (中)
AH CIRCULAR LETTER	サーキュラーレターの作成	吉野 仁 (日)
AH VOCABURARY	用語関連	H. MENNENGA (独)
AH WORKPLAN	WP8D 全体の作業計画等調整	H. OHLSEN (スウェーデン)

AH CIRCULAR LETTER 及び AH VOCABURARY は、今回は開催されなかった。

3. 主要結果

3. 1 全体の主要結果

- ・ IMT-Advanced の評価手法に関する新レポート草案 (IMT.EVAL) を完成・承認した。
- ・ Technology Description Template と Link Budget Template を完成・承認し、新レポート草案 (IMT.REST) に含めることで合意した。
- ・ 2.5GHz 帯の固定系 BWA と IMT-2000 との周波数共用に関するレポート (M.2113) の改訂草案を完成・承認した。
- ・ SG5 からの「OFDMA TDD WMAN の国際ローミング能力に対する質問」についての回答案を完成・承認し、WP5D 議長報告に含めることにした。
- ・ WP5D の所掌事項と長期計画をアップデートし、名称を各々「Executive Summary」と「IMT の作業プログラム計画」に変更した。
- ・ WG-SERV の名称が次回から WG-General Aspects(略称: WG-GEN)に変更となる。
- ・ 次回から SWG Global Circulation を WG-GEN の下に設置することで合意した。

- ・ IMT-2000 無線インタフェースの不要輻射に関する勧告 (M.1580, M.1581) の改訂作業の最終化を第 4 回会合に延期した。
- ・ IMT の周波数アレンジメントに関する勧告 (M.1036) の改訂草案の完成時期を第 6 回会合 (2009 年 10 月) に延期した。
- ・ 698-960MHz 帯の周波数アレンジメントの策定に向けた新レポート草案 (IMT.700) に向けた作業文書を作成した。

3. 2 各WG等の主要結果

(1) WG-SERVICE ASPECTS

- ・ Terms of reference については、名称が Working Party には相応しくないということで、WP5D Plenary で Overview of WP5D Work という名称に変更することになった。内容としては、WP5D は将来の地上系 IMT システムに関連する課題を扱い、それらは技術、運用、及び周波数に関する課題を含む。IMT 衛星コンポーネントに関する課題については WP4C と連携して取り組むこと等が盛り込まれた。
- ・ Long range work program については、2001 年に作成された際に盛り込まれた図が削除される等して、現状に合うものに変更された。また、名称も Long range work program から、Work program plan for IMT に変更された。
- ・ WG-SERVICE の名称は今回の会合までで、次回から WG-GENERAL ASPECT と名称が変更されることが WP5D Plenary で決定された。

(2) WG-TECHNOLOGY ASPECTS

- ・ IMT-2000 の詳細無線インタフェース(RSPC)勧告 (Rec. ITU-R M.1457)については、第 9 版に向けた改訂に関して討議し、今回会合で第 1 章の Introduction 部の変更案を完成、WG において承認した。又各無線インタフェース部の改訂においては CDMA MC 及び OFDMA TDD WMAN が異なる複信方式を既存の無線インタフェースの更新として提案したことに対して独・仏から新規無線インタフェースで登録すべきとの入力が有り討議されたが、更新方法について合意に至らず、第 9 版に向けた改訂案完成を予定している次回会合で更に継続して検討を行うこととした。
- ・ 前回の SG5 において WP5D への質問として記載された OFDMA TDD WMAN の国際 Roaming に関しては、第 2 回 WP5D 会合で作成した当該無線インタフェース提案・評価時の国際 Roaming 機能に係る記述等を纏めた回答案を基に今回会合で最終回答案を完成・承認し、WP5D からの報告に含めることとした。
- ・ IMT-2000 の不要輻射に関する勧告(Rec. ITU-R M.1580,M.1581)に関しては、勧告内の各規定に対する測定誤差の取り扱い、及び両勧告の項目に ACLR を含めるべきか否かで議論となり、外部団体に向けてそれらの情報提供を求める Liaison を発出することとした。両勧告は今回会合で改訂原案完成の予定であったが、前記の項目を含め内容が確定できなかったため完成を次回会合に順延し Workplan 及び作業文書を Update した。
- ・ IMT-Advanced の無線インタフェースの募集を行う際の process を記載した PDN Report M.[IMT.REST]に関しては、前回完成できなかった提案無線インタフェースの概要説明を求める Technology Description Template を完成し SWG、WG、WP5D Plenary において承認を行った。本 Template はその Introduction 及び Link Budget Template と併せ M.[IMT.REST]の 4.2.3 項に挿入され、次回 SG5 に採択を求めることとなった。
- ・ IMT-Advanced の無線インタフェースの評価方法を記述する M.[IMT.EVAL]に関しては今回文書の最終化を実施し、不明点の明確化及び M.[IMT.TECH]との整合性確保を図り Draft New Report として完成した。但し Mobility の評価に関しては 1 Sector Member が WG レベルまで現行記述の評価方法では正確な評価が出来ないと反対し、WG-TECH の議長報告にその旨を記載することで承認となった。本 PDN Report は WP5D Plenary

でも最終的な Editorial 修正の上承認され、次回 SG5 に採択を求めることとなった。尚、前回会合まで本 Report の Annex 3 として記載されていた Link Budget Template は前記のように PDN Report M.[IMT.REST]の 4.2.3 項側に記載することに合意し、M.[IMT.EVAL]からは削除した。

- ・ その他、ANTS に関する ITU-T SG15 からの Liaison については、前回 Carry Forward していた Liaison Back 案に今回 Femto system に関する一般的な記述を追加して更新し、WG-TECH、WP5D Plenary で承認の上 ITU-T SG15 に発出した。
- ・ 尚、Brazil から Femto cell に関する新 Report 作成提案、独から Femto Cell 基地局の Global Circulation 勧告化提案が入力されたが、次回会合での各国・各メンバーの意見入力を待って議論を行うこととした。

(3) WG-SPECTRUM ASPECTS

- ・ WG-SPEC は、周波数アレンジメント勧告の改訂、共用検討関連の検討、リエゾン文書の作成について議論を行った。
- ・ 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂に向けた作業文書の更新(TEMP/116)を行い、次回 WP5D 会合にキャリアフォワードした。なお、勧告改訂案の完成時期を、第 4 回（2009 年 2 月）から第 6 回（同 10 月）に延期した(TEMP/113 Rev.1)。
- ・ UHF 帯の周波数アレンジメントの検討に関連し、カナダから提案された「698-960MHz 帯の周波数アレンジメントの策定に向けての新レポート案[IMT.700]」について作業文書(TEMP/100)を作成し、キャリアフォワードした。
- ・ 2.5GHz 帯における Fixed BWA(FBWA)レポート(M.2113)の改訂案を完成・承認(TEMP/115 Rev.1)し、SG5 へ送付した。なお、当該レポート改訂案の完成を WP5A, 5C に知らせるリエゾン文書(TEMP/130)を承認・発出した。
- ・ 2.5GHz 帯における Mobile BWA(MBWA)新レポート案の作成作業は、OFDMA TDD WMAN と CDMA-DS の共用検討(IMT-part)は、作業文書を修正し(TEMP/118)、次回 WP5D 会合へキャリアフォワードした。なお、HC-SDMA と CDMA-DS の共用検討(non-IMT-part)は、過去数回の WP5D 会合で入力がないことから、新レポート案の作成作業を打ち切ることとした。
- ・ レポート M.2116（BWA の共用検討パラメータレポート）に含まれる IEEE 802.16e の項目について、レポート M.2039（IMT-2000 システムの共用検討パラメータレポート）に OFDMA TDD WMAN として移行を行うレポート改訂案に向けての作業文書を修正し（TEMP/110）、次回 WP5D 会合へキャリアフォワードした。なお、作業の進捗状況を WP5A に知らせるリエゾン文書(TEMP/105)を承認・発出した。
- ・ マイクロワークプランを改訂（TEMP/103 Rev.1）した。また、UHF 帯の共用検討は JTG5-6 で基本的に実施されることから、マイクロワークプランから削除した。
- ・ OFDMA TDD WMAN の ACS に関連し、WiMAX Forum 及び 3GPP に問い合わせを行うリエゾン文書（それぞれ TEMP/111 Rev.1, TEMP/112）を承認・発出した。
- ・ 790-862MHz 帯の IMT パラメータを取りまとめ、当該パラメータの提供を求めていた WP5B（WP5A, 6A にも情報提供）へのリエゾン文書(TEMP/108 Rev.2)を承認・発出した。また、さらなる情報提供を外部団体に求めるリエゾン文書(TEMP/109 Rev.2)を承認・発出した。
- ・ SG4 から送付されたリエゾン文書（5D/118, 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値の算出法の検討）に対しては、WP4A での検討が更新されているため、その情報提供を待つこととし、次回 WP5D 会合にキャリアフォワードした。
- ・ WP1A からの、WRC-11 議題 1.22（SRD による影響の検討）の問い合わせに対する回答のリエゾン文書（TEMP/101 Rev.2）を承認・発出した。

- ・ WP4C からの、WRC-11 議題 1.25（移動衛星業務への追加分配の検討）の問い合わせに対する回答のリエゾン文書(TEMP/102 Rev.1)を承認・発出した。
- ・ WP3K からの、UHF 帯の共用検討に用いる ITU-R 勧告の情報提供に対するお礼のリエゾン文書(TEMP/104)を承認・発出した。

(4) WG-DEVELOPING

ITU-D Q.18-1/2 からのリエゾンに対して、近会合にて WP5D が貢献可能な範囲を明確化し、次回 WP5D 会合において、寄書などにより ITU-D へのリエゾンバックを完成することとした。

(5) AH-WORKPLAN

- ・ ITU-R 勧告 M.1456, M.1545, M.1579 及び M.1646 のスコープ案を承認し、SG5 へノートを求める。
- ・ WG-SERV に一部の作業を分担していたが、この会合で完成して WP5D のワークプランに挿入し、また、全体の最新化を行った。

(6) AH-CIRCULAR LETTER

- ・ 今会合期間中は開催されなかった。

(7) AH VOCABULARY

- ・ 本 AH への入力文書がなかったため、開催されなかった。オフラインで AH 議長は、時期をみて Recommendation をチェックする形で開催したいが、当面次回会合は開く予定はないと述べていた。

4. 所感及び今後の課題

- ・ WP5D の"Long range work program"に関する議論に一応の決着を見たが、IMT-Advanced の議論を開始した時のように具体的な作業項目やスケジュールが見えてこない。今後、明確化を図るための寄与文書入力が必要かもしれない。
- ・ 上記案件については、CJK-B3G WG 会合でも議論を開始しているので、共同提案等も視野に入れて活動する必要があるだろう。
- ・ IMT-2000 無線インタフェースの不要輻射に関する勧告 M.1580/1581 の改訂作業は、日本の主張が一応受け入れられた形で進められているが、全 Annex の情報やパラメータはできる限り同じにすべきという確認がなされたことから、次回会合では更なる議論が必須の状況になっている。日本としても、次回会合に向けた対応を慎重に検討する必要がある。
- ・ 周波数アレンジメントに関する勧告 M.1036 の改訂草案の完成時期は、2009 年 10 月の第 6 回会合に延期されたが、3400-3600MHz 帯については全く議論の俎上に上っていないので、完成時期を想定すると、次回会合に寄与文書入力をして 3400-3600MHz 帯の周波数配置に関する議論を開始する必要があるだろう。
- ・ 新レポート草案 M.[IMT.EVAL]と Technology Description Template は、日本代表団関係者の継続的な貢献と関係国・機関との調整により、今会合で完成・承認することができた。日本代表団関係者の努力並びに WINNER エキスパートとの長時間にわたる調整に感謝する。
- ・ 上記貢献・調整活動での経験・人脈は、今後のコンセンサス形成にも必ずや役に立つと考えている。
- ・ IMT-Advanced の提案募集に必要な文書は今会合で全て完成・承認され、次回会合からは、技術提案の具体的な検討並びにコンセンサス形成の議論に重点はシフトするので、関係国・機関との連携を更に密にして進める必要があるだろう。

5. 各WG等における主要論議

5. 1 WG-SERVICE ASPECTS

(1) 議長：K.Wee (韓)

(2) 主要メンバー：橋本、佐藤(一)、菅田、畑川、Canada、Korea、米、中、独、Finland、他各国(約30名)

(3) 入力文書：5D/242(前回会合の議長報告)、5D/267(カナダ)、5D/286(韓国)、5D/296(ドイツ)

(4) 出力文書：5D/TEMP/138 WG-Service 議長報告
 5D/TEMP/98R1 Executive Summary
 5D/TEMP/106 Work program plan for IMT

(5) 審議概要：

(5-1) 経緯と所掌

本WGは、IMT-2000の高度化及び後継システムのFrameworkに関する勧告草案がWP8F第9回会合で承認されたことを受け、WP8F第10回会合から新たに設定されたものである。所掌はIMTの高度化並びにsystems beyond IMTの想定サービスとアプリケーションの例を提示し、WP8F(現在のWP5D)の活動全体を加速させることだが、WP5D第2回会合ではLong range work program、Terms of reference of WP5D、Possible future working itemsに関する検討を行ったため、第3回会合でも引き続きそれらに関する審議を行った。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ WG-SERVは、会期中4回の審議が行われた。
- ・ 今回の会合では、”Long range work program”、”Terms of reference of WP5D”に関する入力寄与文書があったため、これらの議題が取り扱われた。
- ・ Terms of referenceについては、その名称がWorking Partyでは相応しくないということで、WP5D PlenaryでOverview of WP5D Workという名称に変更することになった。内容としては、WP5Dは将来の地上系IMTシステムに関連する課題を扱い、それらは技術、運用、及び周波数に関する課題を含む。IMT衛星コンポーネントに関する課題についてはWP4Cと連携して取り組むこと等が盛り込まれた。
- ・ Long range work programについては、2001年に作成された際に盛り込まれた図が削除される等して、現状に合うものに変更された。また、名称もLong range work programから、Work program plan for IMTに変更された。
- ・ WG-SERVICEの名称は今回の会合までで、次回からWG-GENERAL ASPECTと名称が変更されることがWP5D Plenaryで決定された。

(6) 今後の課題：

次回からWG-GENERAL ASPECTと名称が変更される。

5. 2 WG-TECHNOLOGY ASPECTS

(1) 議長：Lixin Sun (中国)

(2) 主要メンバー：坂中、佐藤(孝)、橋本、鬼頭、広池、白石、吉野、新、菅田、小西、畑川、小松、藤井、太田、小畑、北、山口、吉井、森脇、佐藤(一)、本多、林、東、小林、伊藤、朱、石田、石川、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、スウェーデン、イタリア、フランス、Finland、ロシア、Brazil、IEEE、WiMAX Forum 他全200名程度

(3) 入力文書

(3-1) RSPC 勧告 M.1457 Update

5D/246 (IEEE) , 5D/248 (BR :TIA TR45.),5D/253 (ETSI), 5D/260 (WiMAX Forum), 5D/262 (米国), 5D/266(Canada), 5D/270 (ATIS), 5D/288 (Alcatel Lucent, AT&T, Telecom Italia, Motorola, Ericsson, Nokia, Nokia-Siemens, DoCoMo) ,5D/299 (Italy) ,5D/301 (仏、独)

(3-2) 不要輻射勧告 M.1580/M.1581

5D/247 (BR :TIA TR45.), 5D/2597,259 (WiMAX Forum) ,5D/271 (日本),
5D/289,290 (Alcatel Lucent, AT&T, Telecom Italia, Motorola, Ericsson, Nokia, Nokia-Siemens, DoCoMo), 5D/300148I (Italy), 5D/304,305,309(中) ,5D/316 (仏、独)

(3-3) Technology Description Template

5D/252 (英), 5D/255 (WiMAX Forum), 5D/261(米国), 5D/264 (Canada), 5D/272 (日本),
5D/278 (AT&T), 5D/283 (韓国), 5D/287 (AT&T, China Mobile, France Telecom, Ericsson, Telecom Italia), 5D/293 (独、Finland,仏), 5D/308 (中), 5D/323 (CF Chairperson)

(3-4) IMT.EVAL

5D/256 (WiMAX Forum), 5D/263 (Sweden), 5D/265 (Canada), 5D/271 (日本,韓国), 5D/274 (Ericsson), 5D/180 (AT&T, China Mobile, France Telecom, Nokia, Nokia-Siemens, telecom Italia, Ericsson), 5D/310 (中), 5D/312 (Finland), 5D/313 (中, Finland), 5D/314 (Qualcomm)

(3-5) その他

5D/263 (Sweden : EVAL の進め方), 5D/295099 (独 : M.1579/Femto Cell)、5D/318 (Brazil: IMT.FEMTO), 5D/322 (WP4B : IMT.Hybrid), 5D/291 (Alcatel-Lucent, AT&T, Ericsson, Motorola, Nokia, Nokia-Siemens, DoCoMo, Telecom Italia : LTE-Advanced)

(4) 出力文書 :

5D/TEMP/097r1 (ITU-T SG15 に対する ANTS 関連の Liaison 案),
5D/TEMP/099r1v2 (DN Report M.[IMT.EVAL]),
5D/TEMP/107r1 (Link Budget Template),
5D/TEMP/119r1 (勧告 ITU-R M.1457 Section 1~4 改訂原案),
5D/TEMP/120r1 (勧告 ITU-R M.1457 Section 5.2.1 及び 5.6.1 の改訂原案),
5D/TEMP/121 (M.1457 改訂 Roadmap),
5D/TEMP/122r1v2 (OFDMA TDD WMAN の国際 Roaming に関する SG5 への回答),
5D/TEMP/123 (SWG-EVAL Meeting Report),
5D/TEMP/125 (SWG-M.1580/81 Meeting Report),
5D/TEMP/126 (M.1580/M.1581 の Roadmap),
5D/TEMP/127r1 (外部団体に対する M.1580/M.1581 の Liaison),
5D/TEMP/128r1 (勧告 M.1580 改訂作業文書),
5D/TEMP/129r1 (勧告 M.1581 改訂作用文書),
5D/TEMP/134r2 (Technology Description Template),
5D/TEMP/135 (SWG-M.1457 Meeting Report),
5D/TEMP/136 (SWG-Radio Aspects Meeting Report),
5D/TEMP/139v2 (WG-TECH Meeting Report),

(5) 審議概要 :

(5-1) 所掌と経緯

本 WG は、IMT-2000 の無線インタフェースに関する技術仕様の改訂、IMT-Advanced の無線技術の検討を所掌

としている。

本会合の検討課題は、RSPC 勧告 M.1457 の改訂案検討、不要輻射勧告 M.1580/M.1581 改訂の検討及び IMT-Advanced の無線インタフェースの提案招聘のための Circular Letter に関わる Technology 関連文書である Report M.[IMT.EVAL]、及び Report M.[IMT.REST]の 4.2.3 章 Technology Description Template の検討・完成であった。

(5-2) 体制

下記の 4 つの SWG という体制で審議を行った。

Group	Chairman	Topic
SWG M.1457	Mr. Nicola Magnani (伊)	RSPC勧告M.1457の第9版に向けた改訂原案策定、及びSG5からのOFDMA TDD WMAN国際Roamingに関する質問に対する回答検討
SWG M.1580/81	Mr. Uwe Lowenstein (独)	不要輻射勧告M.1580/81の第3版改訂に向けた検討
SWG Radio Aspects	Mr. Marc Grant (米)	IMT-Advancedの無線インタフェースに関する関連文書審議 (Technology Description Templateの完成)
SWG EVAL	Mr. Hu Wang (中)	IMT-Advancedの無線インタフェースに関する評価方法審議 (PDN Report M.[IMT.EVAL]の完成)

(5-3) 審議概要と主要結果

- 1) RSPC 勧告 M.1457 Update: 勧告 M.1457 の第 9 版に向けた改訂については、3GPP メンバーから入力された CDMA DS と CDMA TDD、ATIS から入力された TDMA-SC 及び ETSI から入力された TDMA/FDMA の各無線インタフェースの開発情報を反映させて勧告 M.1457 の改訂 Roadmap を 5D/TEMP/121 に改訂した。又、BR 経由 TIA TR45.5 から入力された 5.2.1 章 CDMA MC 部の改訂案及び IEEE と WiMAX Forum から入力された 5.6.1 章 OFDMA TDD WMAN の改訂案を用いて Composite Document を 5D/TEMP/120r1 に作成し次回会合に Carry Forward した。

勧告 ITU-R M.1457 第 1 章の Introduction 部分に関しては今回で Text 最終案を 5D/TEMP/119r1 に纏め WG レベルの承認を行った。本 TEMP 文書も次回会合に Carry Forward され、第 9 版に向けた改訂案に盛り込まれる。

第 9 版に向けた改訂に関しては、CDMA MC 及び OFDMA TDD WMAN が Update として異なる複信方式を盛り込む提案を行っており、これに対して仏、独から別無線インタフェースとして取り扱うべきであるとの入力があった。本件に関しては改訂案完成が次回会合であるため、今回で結論を出さず次回会合で引き続き討議を行うこととなった。

SG5 から WP5D に対して出された、OFDMA TDD WMAN の国際 Roaming に関する質問に関しては、前回会合で作成した Draft 回答案に対して Stakeholder SDO である IEEE 及び WiMAX Forum から特段意見入力が無かったため、前回作成の案を SG5 に対する回答とすることに決定した。尚、SWG レベルで承認された回答案には WG-TECH Plenary において SG5 議長である橋本氏より Stakeholder SDO に対する確認の証左が必要であるとの指摘があり、前回会合報告に添付されている Stakeholder SDO への Liaison を引用した文章を加え 5D/TEMP/122r1v2 として WP5D Plenary で承認を行った。本文書は WP5D の議長報告に含める形で SG5 に報告を行う。

- 2) 不要輻射勧告 M.1580/1581: 勧告 M.1580 及び M.1581 に関しては今回で第 3 版改訂案完成の予定であったが、前回から継続審議となっている ACLR の取り扱い、及び今回仏・独から入力された測定誤差に関する

る件について結論に至らず、完成を次回会合に順延し Roadmap を 5D/TEMP/126 に改訂した。

又、測定誤差に関する各無線インタフェースにおける取り扱い、及び ACLR の値に関する問い合わせを外部団体に行う Liaison を 5D/TEMP/127r1 に作成した。本 Liaison は WP5D Plenary で承認され、発出された。

両勧告の具体的改訂内容に関しては、CDMA DS/TDD、CDMA MC 及び OFDMA TDD WMAN に関する改訂提案入力があり、それらを盛り込んだ作業文書を 5D/TEMP/128r1 (M.1580)及び 5D/TEMP/129r1 (M.1581) に更新した。

勧告 ITU-R M.1580, M.1581 の第 3 版に向けた勧告改訂原案完成は次回会合の予定である。

- 3) IMT-Advanced の提案無線インタフェースの概要を記載する Technology Description Template に関しては、M.[IMT.EVAL]との整合性を確保することが重要であるため、SWG-EVAL における検討が終了してから具体的な項目討議を開始することとし、まず、その Scope に関する議論を行った。
Technology Description Template の Scope に関しては、本 Template の使用目的に関してメンバー間で異なる認識であったため議論となったが、結論として Evaluation に必須な情報以外にも提案無線インタフェースを理解するために必要な項目は盛り込むことで合意し、項目に対して Not Applicable と回答する場合には Option として理由を付記するよう求める記述を盛り込んだ。
記述を求める具体的な項目に関しては、重複記載の削除、項目の再分類化、説明記載の一般化・明確化を行い、又、Evaluation Group 間相互での共通評価条件確保のために必要であるとして日本から提案した Link Budget、周波数再利用パラメータ、及びアンテナのチルト角についての情報も包含した形で 25 の記載項目(副項目含まず)を設定し完成した。本 Template は WG-TECH Plenary、WP5D Plenary において承認され、前回承認されている新 Report 案 M.[IMT.REST]の 4.2.3 章として盛り込むこととなった。
- 4) IMT-Advanced の無線評価手順、方法を定義する新 Report M.[IMT.EVAL]に関しては、今回最終の Review を行い、M.[IMT.TECH]との整合性確保、文章表現の明確化、誤記訂正を実施し完成した。又、前回まで本 Report の Annex 3 として記載していた Link Budget Template は内容の検討は SWG-EVAL で行うが掲載は M.[IMT.REST]の Technology Description Template 内に含めることに合意し、M.[IMT.EVAL]からは削除した。
M.[IMT.EVAL]は SWG レベルにおける討議において Mobility の評価方法が合意出来ず、WG-TECH の Plenary レベルで WG 議長報告に「1つのセクタメンバーが現行の Mobility の評価方法に対して正確な評価が出来ないと主張していた」との記載を行うことで承認。WP5D Plenary レベルでは最後にアンテナ利得とケーブルロスの扱いに関して Link Budget Table との間の整合性確保を行い承認した。本新 Report 案は SG5 に承認を求め上提される。
- 5) その他 Brazil から Femto Cell に関する新 Report 開発の提案、独からは Femto Cell の Global Circulation のために勧告 ITU-R M.1579 の改訂提案入力がなされたが、他の Administration からの意見を待つて進めるべきとの結論となり、次回入力を待つて再度討議を行うこととなった。又、ITU-T SG15 から届いた ANTS に関する Liaison に関しては、TEMP/097r1 としてこれら Femto に関する情報を記載して Liaison Back を作成し、WG-TECH Plenary 及び WP5D Plenary において承認され、発出された。
- 6) SG5 に承認を求める文書。
5D/TEMP/099r1v2 Draft Report M.[IMT.EVAL]
5D/TEMP/078r1 Draft Report M.[IMT.REST]に今回の 5D/TEMP/107r1 及び 134r2 を盛り込んだもの
- 7) Carry forward documents: 今会合では、下記文書を次回会合へ Carry forward することにした。
5D/TEMP/119r1 (勧告 ITU-R M.1457 Section 1~4 改訂原案),
5D/TEMP/120r1 (勧告 ITU-R M.1457 Section 5.2.1 及び 5.6.1 改訂原案),
5D/TEMP/121 (M.1457 の改訂 Roadmap),

5D/TEMP/128r1 (勧告 M.1580 改訂作業文書),

5D/TEMP/129r1 (勧告 M.1581 改訂作用文書),

8) Bookshelf に入れた Document。

無し

5. 2. 1 SWG M.1457

(1) 議長 : Nicola Magnani (伊)

(2) 主要メンバー : 坂中、橋本、佐藤(孝)、白石、林、新、石田、伊藤、石川、中国、韓国、米国、カナダ、フランス、ドイツ、スウェーデン、ETSI、ATIS、IEEE、WiMAX Forum、Qualcomm 他全 60 名程度

(3) 入力文書 :

5D/246 (IEEE) , 5D/248 (BR :TIA TR45.),5D/253 (ETSI), 5D/260 (WiMAX Forum) , 5D/262 (米国), 5D/266(Canada), 5D/270 (ATIS), 5D/288 (Alcatel Lucent, AT&T, Telecom Italia, Motorola, Ericsson, Nokia, Nokia-Siemens, DoCoMo) ,5D/299 (Italy) ,5D/301 (仏、独)

(4) 出力文書 : 5D/TEMP/119r1 (勧告 ITU-R M.1457 Section 1~4 改訂原案)

5D/TEMP/120r1 (勧告 ITU-R M.1457 Section 5.2.1 及び 5.6.1 の改訂原案),

5D/TEMP/121 (M.1457 改訂 Roadmap),

5D/TEMP/122r1v2 (OFDMA TDD WMAN の国際 Roaming に関する SG5 への回答),

5D/TEMP/136 (SWG-M.1457 Meeting Report)

(5) 審議概要 :

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG の所掌は、WG-TECH 管轄既存勧告の改訂と維持、及び TECHNOLOGY に関する他部門との連携、及び Question に対する検討である。既存勧告とは、M.1457 (IMT-2000 詳細無線インタフェース仕様)、M.1079 (QoS 要求条件) であり、今回合会では M.1457 改訂に関する論議、OFDMA TDD WMAN の国際 Roaming に関する SG5 への回答案に関連する検討が実施された。

(5-2) 審議概要と主要結果

勧告 ITU-R M.1457 の各無線インタフェースに関しては、5D/288 により 3GPP メンバーから 5.1 章 (CDMA DS) 及び 5.3 章 (CDMA TDD)、5D/270 により ATIS から 5.4 章 (TDMA SC)、5D/253 により ETSI より 5.5 章 (TDMA FDMA)に関する Roadmap の改訂案が入力され、これを反映させて 5D/TEMP/121 として改訂を行った。

又、5D/248 により TIA TR45.5 から 5.2.1 章 (CDMA MC) 、5D/246,260 により IEEE/WiMAX Forum から 5.6 章 (OFDMA TDD WMAN)に関する改訂提案が入力され、討議を行った。

まず、5.2.1 章及び 5.6.1 章は各々従来と異なる複信方式を Update として盛り込むことを提案しており、これに対して仏・独は 5D/301 において、制度上の理由等から別無線インタフェースとして扱うべきであるとの意見を入力したため議論となった。英国は欧州 CEPT 内で複信方式が異なっても問題とならない国があるとの主張を行い、これに対して独は CEPT 内 28 カ国中 21 カ国が問題となると説明。又 IEEE は TDMA SC においても Indoor における Option として TDD が記載されていると主張した。双方の意見が対立し結論には至らなかったが、第 9 版改訂原案の完成が次回合会であるため、継続審議とすることで合意した。

5.6.1 章においては Stakeholder SDO である IEEE 及び WiMAX Forum が入力した提案文書案に差異があり、両 SDO 間での調整が必要であることを明確化するため、5.2.1 章及び 5.6.1 章の提案文書を纏めた Composite Document を 5D/TEMP/120r1 に作成し次回に Carry Forward した。

又、5.6.2 章においては、従来 100 ページを超える Table が記載されていたが、これを WiMAX Forum の Profile を参照する形に変更したいとの提案が 5D/260 によりなされ、これに対して従来の記載は WiMAX Forum の入力ではなく、第 22 回 WP8F 会合中に ITU メンバーで作成したものであるため提案は不相当であるとの意見が Sweden 及び Ericsson から出された。今回の入力 5D/260 では参照先の Document が記述されておらず、整合性確認も取れないため今回の作業文書 5D/TEMP/120r1 には 5.6.2 章を含めず、本件も次回入力を待つて再度討議することとした。

M.1457 の次回改訂においては、SG4 が衛星コンポーネントを切り出して新たな勧告を作成する予定であること及び昨年 の SG8 において勧告 ITU-R M.1455 が廃止となったことを勘案して勧告中の第 1 章～第 4 章の変更、第 6 章の削除が必要なことが確認されており、又、第 1 章の Introduction 部は現状に即していない記述(2000 年頃からサービス開始が予想される等)があるため、衛星、M.1455 関連の修正と合わせて変更することとなっていた。本章の Text に関しては、今回新たに 5D/262 で米国、5D/266 でカナダ及び 5D/299 でイタリアからの入力があり、議論の上、現状に即し尚且つ従来の記載の内容との齟齬が無い形で 5D/TEMP/119r1 に修正案を完成した。本文書案は WG-TECH Plenary で承認されたため、第 9 版に向けた改訂において第 5 章以外の修正に関する議論は完結したこととなる。

尚、SG5 において 1 つの国から出された OFDMA TDD WMAN の国際 Roaming に関する質問に関しては、前回 Draft 回答案を作成し、内容確認及び齟齬がある場合の変更案入力要請を Liaison として Stakeholder SDO である IEEE 及び WiMAX Forum に発出していたが、今回特に入力が無く、又、会議中に両 SDO により問題が無いことが確認されたため回答案を最終化し、5D/TEMP/122r1v2 として完成させた。本回答は次回の SG5 に WP5D のレポートに添付して提出される予定である。

(6) 今後の課題：

次回会合では異なる複信方式の追加方法が再度議論されるため、特に CDMA MC に対しては Stakeholder SDO である ARIB 及び TTC は注意が必要である。

尚、5.6.2 章の変更に関しては、WP8F 第 22 回会合での合意事項との整合がとれているかのチェックが必要となる。

5. 2. 2 SWG RADIO ASPECTS

(1) 議長： Marc Grant(米)

(2) 主要メンバー： 坂中、佐藤(孝)、橋本、鬼頭、広池、白石、新、小西、畑川、小畑、山口、吉井、森脇、佐藤(一)、林、東、小林、伊藤、石田、石川、中国、韓国、米国、英国、カナダ、ドイツ、スウェーデン、イタリア、フランス、Finland、ロシア、NZ、Ericsson、Intel、IEEE、WiMAX Forum、Nortel、Nokia-Siemens 他全 150 名程度

(3) 入力文書： 5D/252 (英)、5D/255 (WiMAX Forum)、5D/261(米国)、5D/264 (Canada)、5D/272 (日本)、5D/278 (AT&T)、5D/283 (韓国)、5D/287 (AT&T, China Mobile, France Telecom, Ericsson, Telecom Italia)、5D/293 (独、Finland、仏)、5D/308 (中)、5D/323 (CF Chairperson))

(4) 出力文書： 5D/TEMP/134r2 (Technology Description Template)、
5D/TEMP/136 (SWG-Radio Aspects Meeting Report),

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG の所掌は IMT-Advanced の無線インタフェースの提案募集に関する Technology Description Template の討議である。

(5-2) 審議概要と主要結果

SWG では Technology Description Template の今回会合における完成を目指す上で、前回会合で承認された

M.[IMT.TECH]、今回合会で完成される M.[IMT.EVAL]との整合性を確保させるため詳細項目の議論は M.[IMT.EVAL]が完成した以降に行うことに合意し、まず本 Template の Scope の議論から開始した。

Technology Description Template の Scope に関しては、外部の Evaluation Group が必要な情報のみを記載できれば充分であるという意見の英・米・IEEE・WiMAX Forum・Sprint と IMT-Advanced 無線インタフェース選定 Process 中 Step 6 以降の検討にも必要な情報を含むため提案技術の理解を助ける情報も加えるべきであるという意見の日本・Finland・Sweden・中国・カナダ・France Telecom・Ericsson 等との間で議論となり、結論として後の Step で必要と思われる情報が記載されていない場合には再度提案者に問い合わせが発出され、その回答までの余分な時間が必要となること、及び本 Template は要求条件ではなく全ての項目に対する記載が必須ではないことから、アセスメントに必要な項目との位置づけで Evaluation に必要以外の項目も加えることで合意した。

尚、提案者は記載しない項目に対して Not Applicable (N/A)との記載を行うことが可能だが、この際の理由記載を必須とする提案の日本・Finland・中国と、不要とする意見の英・米・IEEE・WiMAX Forum との間で議論となった。最終的に、全ての項目に対する記載が必須ではないとの基本原則から、「Optionaly に N/A の理由を記載する。但し必要な事項が N/A との記載の場合には後で再度問い合わせを行う可能性がある」との記載を加えることで合意し Scope の議論は完結した。

各記載を要求する項目においては、メンバー内で各項目に対する理解が異なっていること、IMT-2000 の時代からの要求項目が現状に即しているかの確認が必要なこと等から議論が発散したため、日本等の提案により主たる関係者を集めてオフライン会合等を何度か開催し、各項目に対する共通理解の育成、それに適した文書案の検討を実施し、結果として既に合意していた提案無線インタフェースがサポートする Test Environment 数の項目の他に、無線インタフェースの機能面の記載として下記の 25 の大項目を記載することで合意した。

(1)多重アクセス方式、(2)変調方式、(3)誤り制御とインターリーブ、(4)急激な遅延 Spread の変化に対応するチャネルトラック機能、(5)物理チャネル構造と多重化、(6)移動管理 (含 Handover)、(7)無線資源管理、(8)フレーム構成、(9)周波数帯への対応と複信方式、(10)アンテナ技術、(11)リンク制御と送信電力制御、(12)送信出力クラス、(13)スケジューラと QoS、データサービス、(14)無線インタフェースのアーキテクチャとプロトコルスタック、(15)セル選択機能、(16)位置特定機能、(17)優先制御、(18)Unicast, Multicast, Broadcast、(19)秘匿、認証、Privacy、Authorization 及び合法的な Interruption 機能、(20)周波数利用方法/セル・周波数追加の容易性、(21)(与、被)干渉除去、(22)局間同期に対する事項、(23)Link Budget Template、(24)その他、(25)備考

日本から Evaluation に必要な項目として提案した項目に関しては、Link Budget Template が 23 項に、Antenna Tilt 角が 10 項に、周波数 Reuse Factor が 24 項に採用されたが、遅延の CDF の項目に関しては VoIP の評価において 50ms 以降に到達する Packet を全て無効として取り扱うことで充分評価可能であるとの反対意見が Intel 等から出され、サポートが得られなかったため採用されなかった。

上記項目について説明文章の明確化、一般化を行い、Technology Description Template は最終的に 5D/TEMP/134r2 として完成した。

尚、本 Template は前回合会で承認されている新 Report 案 M.[IMT.REST]内の 4.2.3 章として盛り込まれ、Scope 部は 4.2.3.1 節、記述を求める項目は 4.2.3.2 節、SWG-EVAL で検討されていた Link Budget Template を 4.2.3.3 節として記載される。

本 Template は WG-TECH Plenary 及び WP5D Plenary で承認され、新 Report M.[IMT.REST]の一部として SG5 に承認を求め上提される。

(6) 今後の課題：

Technology Description Template の完成により本 SWG の所掌は完遂されたため、当面活動は必要ない。

5. 2. 3 SWG EVAL

- (1) 議長：Hu WANG (中国)
- (2) 主要メンバー：鬼頭、藤井、本多、朱、太田、小西、東、石川、吉野、吉井、林、小林、伊藤、森脇 他日本代表团、中国、韓国、米国、英国、カナダ、スウェーデン、フィンランド、IEEE、WiMAX Forum、Intel、Ericsson、Sprint Nextel、Qualcomm、Telecom Italia、AT&T 他 全 120 名程度
- (3) 入力文書：5D/256 (WiMAX Forum), 263 (Sweden), 265 (Canada), 271 (Japan, Korea), 274 (Ericsson), 279 (AT&T, Telecom Italia, ...), 310 (China), 312 (Finland), 313 (Finland, China), 314 (Qualcomm)
- (4) 出力文書：5D/TEMP/099rev2 (レポート M.[IMT.EVAL]草案),
5D/TEMP/107 (LINK BUDGET TEMPLATE),
5D/TEMP/123 (SWG-Evaluation Meeting Report)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG の所掌は、IMT-Advanced の無線インタフェース技術評価方法を記載するレポート草案 M.[IMT.EVAL] に関する討議である。

(5-2) 審議概要と主要結果

本 SWG 会合は今会期中に 9 回開催され、レポート草案 M.[IMT.EVAL]、及び Link Budget Template (LBT) を完成した。

レポート草案は前回会合までに内容がほぼ確定しており、主に記述ミスの修正や他ドキュメントとの整合を図るための修正を目的に作業が行われた。議論となったのは、Mobility の評価手法、VoIP Capacity の評価条件、IoT (Interference over Thermal) の定義とパラメータの追加、Convergence に関する記述、Antenna gain の数値等であった。各々オフラインで調整された結果が採用となったが、Mobility のリンクレベルシミュレーションでの評価手法については Qualcomm が同意せず、WiMAX Forum 等と意見が分かれ、結論として 1 セクターメンバーから反対意見があった旨の記録を WG TECH 議長報告に残す条件で、リンクレベルシミュレーションでの評価手法を採用とした。BS antenna gain については、14dBi を提案していた日本等と、17dBi を支持する WiMAX Forum、Sprint Nextel 等とで議論となった結果、17dBi という値にはケーブルロス等が含まれないことを確認し、17dBi (Indoor hotspot 以外) が合意となった。また、ケーブルロス等の情報は LBT に記述する項目が設けられた。結果的に、この BS antenna gain 以外は、日本提案のすべての内容がレポート草案 M.[IMT.EVAL] に採用された。この他、前回会合で完成したチャンネルモデルに関する第 9 章と Annex 1 についても、フィンランドと日本が中心となりオフラインでの修正が行われた。これらの結果を反映したレポート草案の作業文書は、3 日目の WG TECH 第 2 回プレナリー会合で TEMP/099rev1 として承認され、最終日の WP5D プレナリー会合で若干修正し、TEMP/099rev2 が承認された。

LBT については、初日の WG TECH 第 1 回プレナリー会合で、レポート草案 M.[IMT.EVAL] の Annex 3 からの分離と、レポート草案 M.[IMT.REST] の Technology Description Template (TDT) への移行が合意された。構成としては、スウェーデン、Telecom Italia 等の意見により、IMT-Advanced RIT/SRITs の提案者に対し 5 つの Deployment scenario 毎に LBT の提示を求めることとなったため、5 つのテンプレートを用意することとなった。また、コントロールチャンネルとデータチャンネルを区別して記述させるよう変更がなされた。LBT の作業文書は最終日の WG TECH 第 3 回プレナリー会合で若干の修正の上、TEMP/107rev1 として承認され、その後 WP5D プレナリー会合で特段の意見無く承認された。なお、LBT は最終的に TDT の一部に含まれるため、TDT の作業文書である TEMP/134rev2 には、LBT を反映するべき箇所の記載がなされている。

(6) 今後の課題：

今回合会で作業が終了したため、次回合会で特に対応すべき課題は無い。

5. 2. 4 SWG M.1580 & M.1581

(1) 議長： U. Lowenstein (独)

(2) 主要メンバー： 坂中、佐藤 (孝)、本多、山口、小畑、菅田、畑川、米、中、英、独、仏、Telecom Italia、Qualcomm、Intel、WiMAX Forum 他各国 (約 70 名)

(3) 入力文書： 5D/247 (BR-CDMA-2000)、5D/257, 259 (WiMAX Forum)、5D/273 (日本)、5D/289, 290 (Alcatel Lucent 他 3GPP 関連)、5D/300 (Italy)、5D/304, 305, 309 (中国)、5D/316 (France, Germany)

(4) 出力文書： 5D/TEMP/125 SWG-M.1580 & M.1581 議長報告
5D/TEMP/126 Detailed workplan の改訂案
5D/TEMP/127R1 SDO に対するリエゾン案
5D/TEMP/128R1 勧告 ITU-R M.1580-2 の改訂に関する作業文書
5D/TEMP/129R1 勧告 ITU-R M.1581-2 の改訂に関する作業文書

(5) 審議概要：

(5-1) 経緯と所掌

- RA-07 において、勧告 ITU-R M.1580 及び勧告 ITU-R M.1581 の Annex6 (OFDMA-TDD WMAN) に対して、「新たな無線インタフェースと既存の無線インタフェースの地理的な共用を確保するため、出力マスク及び隣接チャネル漏洩電力に関するさらなる検討が早急に必要である」旨の noting が追加された。また、関連項目検討の早期着手と迅速な推進を求める旨のステートメントが RA-07 会合レポートに記載された。WP5D 第一回会合では、WP5D 第三回会合で改訂作業を終了するという内容のワークプランが作成され、WP5D 第二回会合では各 Annex での ACLR の取り扱いを議論した。その結果、ACLR の取り扱いについては、各国主管庁に対して見解を求めるという結論に達した。

(5-2) 審議概要と主要結果

- SWG-M.1580 & M.1581 は、合計 4 回、6 Period 開催された。
- 勧告 ITU-R M.1580/M.1581-2 の改訂作業完了が次回の第 4 回会合に延期された。
- 勧告 ITU-R M.1581 について、スコープを明確化するため、スコープに"suitable for establishing the technical basis for global circulation of IMT-2000 terminals."を追加することを議論して、これを作業文書に含めた。
- 仏、独は、Annex6 (OFDMA TDD WMAN) に記載されている ACLR と Emission mask から計算した ACLR の差を指摘する寄与文書 (5D/316) を入力した。WiMAX Forum、および日本から差がある理由の説明・議論を行ったが、時間の関係で技術的に深い議論とはならず、検討を継続することになった。
- 日本から入力した Annex1 (CDMA DS)、Annex3 (CDMA TDD) の ACLR は現状のまま維持するという提案 (5D/273) は、他国の同様の提案とともに受け入れられ、ACLR 規定は削除されないことになった。
- 勧告 ITU-R M.1580/M.1581 の全 Annex の情報やパラメータはできる限り同じにするべきであることが確認された。まず、Test tolerance (測定誤差) は、これが許容値に含まれているもの (Annex1,3)、許容値に含まれていないもの (他の Annex) との違いが指摘された (5D/316)。これらの違いは、勧告 ITU-R M.1545 で説明できるとの共通認識を持ったが、確認のため Test tolerance の情報を各 SDO に求めることになり、リエゾンが作成された (TEMP/127R1)。
- 次に ACLR の取り扱いについても、Annex ごとに差 (Annex1,3,6 は許容値あり、Annex2,4,5 は許容値なし) があるため、同じリエゾンで各 SDO に情報を求めることになった。
- 勧告 ITU-R M.1580-2/M.1581-2 の改訂に関しては、上記議論とは並行して、各 SDO からの入力を Annex1, 2, 3,

および6にそのまま含めて、作業文書を作成した（TEMP/128R1、129R1）。これら作業文書はSDOへのリエゾンに添付された。

- ・ Test tolerance の定義を明確にするために、作業文書に Appendix を追加し、用語の説明を行うことになった。

(6) 今後の課題：

- ・ 勧告 M.1580,M.1581 の位置付けをめぐる各国の立場の違いに対する認識が深まりつつあるので、次回会合で議論が収束するように寄与文書を作成し、かつ各国への働きかけを強めることが重要である。
- ・ また、Appendix の追加の妥当性など、作業文書の内容を再確認し、必要に応じて寄与文書を入力する必要がある。
- ・ WP5D 第4回会合でも、引き続き勧告の改訂作業が行われるので、Annex6 の Emission mask を始めとした勧告の内容が、日本の無線設備規則との整合性の観点から問題が生じないように慎重に対処する必要がある。

5. 3 WG-SPECTRUM ASPECTS

(1) 議長： Alan.R.Jamieson(ニュージーランド)

(2) 主要メンバー： 米、英、仏、独、加、中、韓、露、ニュージーランド、スウェーデン、フィンランド、ブラジル、WiMAX-Forum、アルコム、インテル、エリクソン、華為、サムソン、坂中、橋本、佐藤（孝）、佐藤（一）、小松、小畑、北、山口、新、他 全80名程度

(3) 入力文書： Doc.5D/

①全般、リエゾン文書： 242（第2回会合議長報告、Ch.2, Att2.9, Ch.5）, 243(WP1A)

②SWG Sharing：

- 244(IEEE), 245(IEEE), 249(TIA), 254(WiMAX-Forum), 258(WiMAX-Forum), 276(BWA CG), 292(Alucatel-Lucent France, et al.), 298（英）, 302（仏）, 315（仏、独）

- 101(WP5B), 107(WP5A), 118(SG4), 131R1（SG5, 6議長）, 166（仏）※第2回会合からのキャリアフォワード

③SWG Frequency arrangement：

- 251(Alcatel-Lucent, et al.), 268（加）, 269（加）, 275（エリクソン）, 280（ニュージーランド）, 281（ニュージーランド）, 284（韓）, 285（中、韓、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、ベトナム）, 294（独）, 307（中）, 311（フィンランド）, 317（ブラジル）

(4) 出力文書： Doc.5D/TEMP

100 698-960MHz 帯の周波数アレンジメントの策定に向けた新レポート案[IMT.700]の作業文書

101 WRC-11 議題 1.22（SRDによる影響の検討）に関する WP1A へのリエゾン文書

102Rev.2 WRC-11 議題 1.25（移動衛星業務への追加分配の検討）に関する WP4C へのリエゾン文書

103Rev.1 共用検討に関わるマイクロワークプラン

104 UHF 帯の共用検討に用いる ITU-R 勧告の情報提供に対する WP3K へのリエゾン文書

105 レポート M.2039 の改訂の進捗状況を知らせる WP5A へのリエゾン文書

108Rev.2 790-862MHz 帯の IMT パラメータを提供する WP5B へのリエゾン文書

109Rev.2 790-862MHz 帯の IMT パラメータをさらに提供する外部団体へのリエゾン文書

110 レポート M.2039（IMT-2000 システムの共用検討パラメータレポート）改訂案の作業文書

111Rev.1 OFDMA TDD WMAN の ACLR, ACS の明確化のための WiMAX Forum へのリエゾン文書

112 OFDMA TDD WMAN の ACLR, ACS の明確化に関連した 3GPP へのリエゾン文書

113Rev.1 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂案作成に関するマイクロワークプラン

116 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂案の作業文書

117Rev.1 SWG Frequency Arrangements 議長報告

- 115Rev.1 2.5GHz 帯における Fixed BWA(FBWA)レポート(M.2113)の改訂案
- 118 2.5GHz 帯における Mobile BWA(MBWA)新レポート案の作業文書
- 124 SWG Sharing 議長報告
- 130 レポート M.2113 の改訂案完成に関する WP5A, 5C へのリエゾン文書
- 137 WG Spectrum Aspects 議長報告

(5) 審議概要 :

(5-1) 所掌と経緯

WG Spectrum Aspects(WG-SPEC)は、IMT-2000、IMT-Advanced の周波数全般に関連する事項についての検討を行うことを所掌とし、周波数アレンジメント勧告の改訂、共用検討関連の検討、リエゾン文書の作成について議論を行った。

(5-2) 体制

第 1 回 WG 会合において、SWG-Sharing と SWG-Frequency Arrangements の 2 つの SWG を構成すること、SWG 議長は、それぞれ Mr.Michael KRAEMER (独)、Mr. Meng ZHOU (中国) が担当することが承認された。

SWG の構成は以下の通り。

SWG名	SWG議長	主なトピック
SWG-Sharing	Mr.Michael KRAEMER (独)	2.5GHz帯BWAの共用検討、IMTの共用検討パラメータの検討、等
SWG-Frequency Arrangements	Mr. Zhou MENG (中)	勧告M.1036-3の改訂

(5-3) 審議概要と主要結果

第 1 回会合では、SWG にアサインされた文書は直接 SWG で審議することとされ、WG レベルで審議すべき一般文書やリエゾン文書が審議された。

- ・ 今会合への入力文書に加えて、前回第 2 回会合からのキャリアフォワード文書として、101(WP5B), 107(WP5A), 118(SG4), 131R1 (SG5, 6 議長), 166 (仏) が、審議の対象に追加された。
- ・ 5D/242(Ch.2, Att.2.9, Ch.5) : 第 2 回会合の議長報告であり、WG 議長よりマイクロワークプラン(Chapter 2 Att.2.9)及び WG 議長報告(Chapter 5)を参照するようにと紹介があった。
- ・ WP1A からの Short Range Device (SRD)に関するリエゾン文書(5D/243)の取り扱いについては、SWG-Sharing 議長より SRD からの IMT の保護の点から、レポート ITU-R M.2039 (IMT-2000 の共用検討パラメータ)を紹介してはどうかというコメントがあり、特段反対がなかったため、リエゾン文書の案を、SWG-Sharing 議長が作成することとなった。

第 2 回会合では、各 SWG からの報告を受け、TEMP 文書の審議を行った。特段大きな修正もなく承認が行われ、全体会合へ送られた。主要結果は以下の通り。

(a) SWG-Sharing 関連

- ・ TEMP/101Rev.1 : WRC-11 議題 1.22 (SRD による影響の検討) に関わる WP1A へのリエゾン文書。Intel の提案により、M.2039 の引用箇所、当該レポートの改訂案を作成中であることを脚注に追加。承認。
- ・ TEMP/102Rev.1 : WRC-11 議題 1.25 (移動衛星業務への追加分配の検討) に関わる WP4C へのリエゾン文書。特段コメントなく承認。
- ・ TEMP/103Rev.1 : SWG Sharing 関連のマイクロワークプラン。特段コメントなく承認。

- TEMP/104 : WP3K へのリエゾン文書 (UHF 帯の伝搬モデルに関わる関連 ITU-R 勧告の情報提供に対するお礼)。特段コメントなく承認。
- TEMP/105 : WP5A へのリエゾン文書 (802.16e のパラメータについて OFDMA TDD WMAN として、レポート M.2116 から M.2039 へ移動させる作業の進捗状況の報告)。特段コメントなく承認。
- TEMP/108Rev.1 : WP5B(Copy to WP5A,6A)へのリエゾン文書 (790-862MHz 帯の IMT パラメータ)。韓国より、Table 5 に記載の、700 MHz public safety band との表記の改善が必要であると指摘があり、Qualcomm が TIA を代表して、当該表記を含む Usage の欄を削除すればよいと提案があり修正。承認。なお Qualcomm の要請により、「Table 1 及び 2 にまとめられた情報のすべてが IMT-2000 ファミリーに関係するわけではない」との見解を WG 議長報告に記載することとした。
- TEMP/109Rev.1 : 外部団体へのリエゾン文書 (790-862MHz 帯の IMT パラメータ)。特段コメントなく承認。
- TEMP/111Rev.1 : WiMAX Forum へのリエゾン文書 (ACS に関する問い合わせ)。特段コメントなく承認。
- TEMP/112 : 3GPP(Copy to IEEE)へのリエゾン文書 (3GPP における ACS のテスト条件に関する問い合わせ)。特段コメントなく承認。
- TEMP/115 : レポート M.2113 (Fixed BWA と IMT-2000 の共用検討レポート) の改訂案。WG 議長より、中国からの当該改訂案の修正提案が CG 活動中に JIVE に入力しようとしたが、正しく処理されなかったため、本会合中にその内容を取り込む作業を行ったことについて、プロセス上問題ないかの確認が行われ、特段反対意見は示されなかった。承認。なお、SG5 議長の橋本氏より、当該レポート改訂案は FWA に関わるものであるため、関連 WP である WP5A 及び WP5C に対して、レポート改訂案完成を報告するリエゾンを送る提案が行われた。WP5A 議長の J.Costa 氏も支持し、リエゾン文書案として TEMP/130 が提示された。当該リエゾン文書案に特段の反対はなく、承認。

(b) SWG-Frequency Arrangements 関連

- TEMP/113Rev.1 : M.1036 (周波数アレンジメント勧告) の改訂に関わるマイクロワークプラン。特段コメントなく承認。

(c) 議長報告に添付する文書の確認

- TEMP/100, 110, 116, 118 を WP5D 議長報告に添付することが提案され、特段コメントなく合意。

(d) その他

- 米より、5D/118 (SG4 からの IMT の PFD 制限値の算出法に関するリエゾン文書) についてキャリーフォワードする必要があるとの指摘があり、SWG Sharing 議長も同意し、キャリーフォワードすることとした。

(6) 今後の課題 :

- 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂や、698-960MHz 帯の周波数アレンジメントの策定に向けた新レポート案[IMT.700]の作成に対しては、我が国では、3400-3600MHz、及び 698-806MHz 帯域の一部を IMT に使用予定であることを踏まえ、適切に対処する必要がある。
- レポート M.2039 の改訂案、及び 2.5GHz 帯の MBWA の共用検討新レポート案の完成に向けては、OFDMA TDD WMAN の ACS 及び ACLR に関わる各国のコンセンサスの形成が課題となっている。ACLR については IMT-2000 の不要発射に関する勧告 M.1580/1581 の改訂の議論と関係する可能性があり、必要に応じて WG-TECH と連携・調整する必要がある。
- IMT 共用検討パラメータの議論については、WiMAX(FDD)の取扱いに関連しており、必要に応じて WG-TECH と連携・調整する必要がある。
- 第 2 回会合に引き続き SG4 からのリエゾン文書 (3400-3600MHz 帯における IMT の特定に関する脚注における PFD 制限値の算出法に関するもの) はキャリーフォワードされたため、引き続き適切な対処を検討

する必要がある。

5. 3. 1 SWG SHARING

(1) 議長：Mr.Michael KRAEMER(独)

(2) 主要メンバー：米、英、仏、独、加、中、韓、露、豪、瑞、NZL、フィンランド、ブラジル、WiMAX-Forum、ケルコム、インテル、エリクソン、華為、サムソン、坂中、橋本、佐藤（孝）、佐藤（一）、広池、菅田、本多、小畑、北、山口、伊藤、吉井、小松、他 全60名程度

(3) 入力文書：Doc.5D/

- | | |
|------------------------------|---|
| ①IMT パラメータに関するもの | 244(IEEE), 249(TIA), 254(WiMAX Forum), 292(3GPP), 298(UK) |
| ②BWA CG 活動報告 | 276(CG Chairman) |
| ③ACS の明確化に関するもの | 245 (IEEE), 258 (WiMAX Forum), 315(F,G) |
| ④WRC-11 議題 1.22 の SRD に関するもの | 243(WP1A) |
| ⑤前会合からキャリーフォワードされたもの | 101(WP5B), 107(F), 117(WP4C), 118(SG4), 131 (WP6D), 166 (F) |
| ⑥その他、会期中に入力されたもの | 324(WP3K) |

(4) 出力文書：

SWG 議長報告： Doc.5D/TEMP/124

レポート改定案：

5D/TEMP/115R1 FBWA 共用検討レポート改定案 (Non-IMT part)

リエゾン文書：

5D/TEMP/101R1 WRC-11 議題 1.22 の SRD に関する WP 1A へのリエゾン

5D/TEMP/102R1 WRC-11 議題 1.25 の MSS に関する WP4C へのリエゾン

5D/TEMP/104 UHF 帯の伝搬モデルに関する WP3K へのリエゾン

5D/TEMP/105 WiMAX の M.2039 移行に関する WP5A へのリエゾン

5D/TEMP/108R2 UHF 帯の IMT パラメータに関する WP5B へのリエゾン

5D/TEMP/109R2 IMT パラメータに関する外部 SDO へのリエゾン

5D/TEMP/111R1 ACS の明確化に関する WiMAX Forum へのリエゾン

5D/TEMP/112 ACS 及び試験条件に関する 3GPP へのリエゾン

5D/TEMP/130 FBWA 改訂完了に関する WP5A,5C へのリエゾン

ワークプラン：

5D/TEMP/103R1 MBWA、FBWA、2300MHz 帯、M.2039 改訂、UHF 帯の各ワークプラン

作業文書：

5D/TEMP/110 レポート ITU-R M.2039 改定草案

5D/TEMP/118 MBWA 共用検討レポート草案 (IMT part)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 SWG-SHARING は、IMT-2000、IMT-Advanced の周波数帯における共用検討、共用検討に用いるパラメータの検討を主な所掌とし、前会合から Mr.Michael KRAEMER(独)が議長を務めている。

今会合では、UHF 帯の IMT パラメータ、2.5GHz 帯 BWA 共用検討レポート (FBWA 及び MBWA)、共用検討

レポート M.2039 の改訂 (WiMAX パラメータの M.2116 から M.2039 への移行)、ACS (Adjacent Channel Selectivity) の明確化、その他 WRC-11 議題に関するリエゾン等についての審議が行われた。

(5-2) 体制

第 1 回 SWG 会合において、下表の通り 2 つの Drafting Group と 2 つの AdHoc Group を構成することとし、それぞれの議長が承認された。

DG/AH の構成と議長：

GROUPS	CHAIRPERSON	TOPIC
AH PARAMETER	Mr.J.P.Millet 氏 (仏)	UHF帯のIMTパラメータ
DG BWA	Mr.R.Arefi (USA/Intel)	2.5GHz帯BWA(FBWA、MBWA)
DG M.2039	Mr.J.Williams (WiMAX Forum)	レポートM.2039の改定
AH ACS	Mr.Y.Li (FT)	ACSの明確化

(5-3) 審議概要と主要結果

第 1 回会合では、SWG にアサインされた文書のプレゼンと質疑が行われ、BWA 関連と M.2039 の改訂関連に関する 2 つの Drafting Group、UHF 帯の IMT パラメータと ACS の明確化に関する 2 つの AdHoc Group の設立が合意され、それぞれの議長が承認された。

第 2 回及び第 3 回会合では、各 DG/AH からの報告を受け、外部へのリエゾン文書、今会合で承認するレポート改訂案、議長報告に添付してキャリアフォワードする作業文書、ワークプランの修正案が審議・承認された。

主な審議内容と結果は以下の通り。

①IMT パラメータ関連 (AH-PARAMETER 議長：Mr.J.P.Millet 氏：仏)

- ・ 今会合では、AH-PARAMETER (議長：J.P.Millet (仏)) において、主に WP5B (UHF 帯における ARNS 航空管制レーダとの共用検討を実施予定) へのリエゾンバックについて審議が行われ、入力文書に基づき、W-CDMA/LTE、cdma2000/HRPD/UMB、WiMAX のパラメータを提供するリエゾン(5D/TEMP/108R2)が作成され、承認された。
- ・ WP5B からのリエゾン(5D/102)では、移動業務パラメータとして IMT に限定せずにパラメータを要求していたが、リエゾンバックのタイトルを IMT パラメータとするか移動業務パラメータとするかが議論され、後述のように、一般移動業務は WP5A が所掌と明記し、タイトルは IMT パラメータとすることで合意された。
- ・ ZDF&NDR (独) の指摘により、パラメータが全て揃っていないことが確認され、本リエゾンで提供するパラメータが暫定値 (Preliminary) であること、不足している項目があり今後検討する必要があることを明記することになった。また、HRPD の Spectrum Mask の欄には、TIA の M.1580/1581 への修正提案を参照としていたが、現在の M.1580-2/1581-2 には HRPD が含まれていないとし「M.1580-2/1581-2 の将来の改訂版を参照」とされた。
- ・ Intel が、WP5D からは IMT だけのパラメータを出すべきと指摘し、Lucent も WP5D は IMT を扱うが一般の移動業務は WP5A が扱うとし、リエゾン本文に、IMT 以外のシステムは WP5A が所掌であることを明記し、WP5A にも Copy として送付することになった。また、NDR の提案に基づき WP6A にも Copy を送付することになった。
- ・ Qualcomm が WiMAX(FDD)は M.1457 に存在しない (IMT-2000 として認められていない)、WiMAX(TDD) も M.1457 に UHF 帯のパラメータは無いと指摘し、「現在は IMT-2000 でないが、(IMT-2000 に) 含めるこ

とを要求する動きがある」とノートし、帯域については WiMAX Forum で検討されている UHF 帯のバンドクラスのテーブルを添付することになった。Qualcomm の懸念は、WG-SPECTRUM 議長報告にも記載されることになった。

- ・ 外部 SDO に対しても、情報提供のお礼と現状の状況を知らせるリエゾンを送付することが作成され、承認された。当初は、WP5B へのリエゾンに添付するパラメータ表と同じものを添付する予定であったが、WP5B へは UHF 帯に限定する内容としたため、SDO へのリエゾンにおいては、提案された全ての周波数帯（バンドクラス）、バンドクラス毎の移動機送信出力（e.r.p または e.i.r.p）を含むパラメーター一覧表を添付することになった(5D/TEMP/109R2)。

②BWA 共用検討関係（DG-BWA 議長：Mr.R.Arefi/Intel）

- ・ 2.5GHz 帯 FBWA 共用検討レポート（M.2113）の改訂作業（CDMA-TDD と Fixed WiMAX の共用検討の追加）については、正式な入力文書はなかったが、中国が CG 活動中に JIVE が機能しなかったため入力できなかったとし、DG-BWA において中国が入力予定だった内容で改訂作業を継続することを合意し、改定作業が行われた。SWG-Sharing においてセクション・バイ・セクションでレビューし、章番号や参照文書に Editorial な修正を施す必要があるとされたが、技術的には特段の異議無く承認された。WP5D プレナリにおいて SG5 に諮ることが承認された(5D/TEMP/115R1V2)。また、改訂案の完成を WP5A と 5C に通知するリエゾンが作成され、承認された。(5D/TEMP/130)。
- ・ 2.5GHz 帯 MBWA 共用検討レポートの新規作成については、CG 議長から System A(Non-IMT)に関して入力無く、System B (IMT-Part) についてエディトリアルな修正が行われたと報告された(5D/276)。
- ・ System A(Non-IMT)については、過去数回の WP5D 会合で入力が無いことから、作業継続の有無が議論され、エディター（WiMAX Forum）の作業終了の提案に反対意見が無く、新レポート作成作業の打ち切りが承認された。System B(IMT-Part)については、CG 活動の結果に Ericsson の Editorial な修正提案が反映された作業文書が作成され、ACS、ACLR の結論がでていないためキャリアフォワードすることが承認された(5D/TEMP/118)。
- ・ MBWA 共用検討を次回の第 4 回会合で最終化するというワークプランの改訂案が承認された。

③M.2039 の改訂関係（DG-M.2039 議長：Mr.J.Williams/WiMAX-F）

- ・ 前会合において、WP5A からのリエゾン(5D/107)及び WiMAX-F の提案(5D/163)に基づき、従来 BWA の共用検討パラメータレポート(M.2116)に含まれていた Mobile WiMAX の内容を、IMT-2000 の共用検討パラメータレポート(M.2039)に移行するための作業文書が作成され、今会合にキャリアフォワードされていた(5D/242 Att5.15)。
- ・ 今会合では、新たな入力文書はなかったが、前回の作業文書の未審議事項の議論を継続し、ACS、ACLR 等の議論が結果でていないため完成には至らず、作業文書を次回にキャリアフォワードすることが承認された(5D/TEMP/110)。
- ・ WP5A へ作業を完了することが出来なかった旨を通知するリエゾンが作成され、承認された(5D/TEMP/105)。
- ・ 次回の第 4 回会合で最終化するというワークプランの改訂案が承認された。

④ACS の明確化（AH-ACS 議長：Mr.Y.Li/FT）

- ・ 前会合において、IEEE 及び WiMAX-F に ACS を求める計算式と条件に関して説明を求めるリエゾンを要求し、今会合に IEEE、WiMAX-F、仏/独から入力文書があった。
- ・ BT より、M.1457 の値と M.2039 の値の違いについて、M.1457 の値は 6GHz までの複数の周波数に適用さ

れる最低保証値(Minimum guaranteed value)、最低要求条件(minimum requirement)であり、M.2039(M.2113)の値は共用検討に用いるための典型的な値 (typical value for sharing study) であると説明された。

- ・ AH 議長の提案した計算式と条件を明確にして ACS 値を求める作業手順、提案された ACS 値を共用検討に用いる典型値として合意するかとの確認に合意が得られず、再度 OFDMA TDD WMAN (WiMAX) の ACS に関連するリエゾン を WiMAX Forum 及び 3GPP に出すことになり、オフラインでリエゾン案が作成され、承認された。
- ・ WiMAX Forum 向けのリエゾンとして、数年前に提供された ACS 値は M.1457 に記載された ACR や SNR から求められたものでないとし、WiMAX Forum 固有の ACS 値、あるいは WiMAX Forum の定義した ACR や SNR から求められた ACS 値の提供を求めるもの (5D/TEMP/111R1)、3GPP 向けのリエゾンとして、M.1457 の CDMA-DS パート (5.1) では ACS のテスト条件を 3GPP 仕様 36.101(V8.0.0(2007-12)) のように「REFSENS (基準受信感度) +14dB」としていることから、この「REFSENS (基準受信感度) +14dB」の根拠の説明を求めるものリエゾン(5D/TEMP/112)が作成された。

⑤ワークプラン

上記①～③の結果を踏まえ、マイクロワークプランが適宜改訂された。また、UHF 帯の共用検討は JTG5-6 で行われることから、ワークプランから削除された。(5D/TEMP/103R1)

⑥その他のリエゾン関係

他の WP からのリエゾンに対して、以下のアクションとすることが承認された。

- ・ WRC-11 議題 1.22 (SRD による影響の検討) に関する WP 1A へのリエゾンとして、IMT バンド(例: 2.5GHz 帯)が ISM バンド(例: 2.4GHz 帯)に隣接する場合があるため、SRD から IMT を保護する検討を行うことは適当とし、IMT の共用検討パラメータを集めたレポート M.2039 があること、当該レポートの改訂案を作成中であることを情報として提供するものを承認(5D/TEMP101R1)。
- ・ WRC-11 議題 1.25 (移動衛星業務への追加分配の検討) に関する WP4C へのリエゾンとして、決議 231(WRC-07)によれば対象周波数は 4~16GHz であり IMT に特定された帯域でないこと、SG5 内では WP5C が本議題の主関係箇所であることを通知するものを承認(5D/TEMP/102R1)。
- ・ UHF 帯の伝搬モデルに関する WP3K へのリエゾンとして、UHF 帯の共用検討に適用可能な伝搬モデルとして勧告 P.1546、P.1812 を紹介してくれた謝辞を述べるものを承認(5D/TEMP/104)。
- ・ 前会合からキャリアフォワードされた、SG4 からの 3.4-3.6GHz 帯の IMT に対する PFD 制限値の算出法の検討に関するリエゾン文書 (5D/118) は、WP4A で新たなリエゾンが発出されるとの情報があり、その情報提供を待つこととし、再度キャリアフォワードすることになった。
- ・ 前会合からキャリアオーバーされた、WP6D からの放送業務に関する検討体制を確立しようとしていることを伝えるリエゾン (5D/131)は、SWG 議長より DG の結果を見てアクションを判断することとされ、結局ノーアクションとされた。

(6) 今後の課題:

- ・ IMT 共用検討パラメータ、勧告 M.2039 の改訂の関連で、WG-TECH での M.1457、M.1580/1581 で議論されている ACS、ACR の値、WiMAX(FDD)の取扱の動向に注意する必要がある。

5. 3. 1. 1 DG BWA

- (1) 議長: Reza AREFI (Intel)

- (2) 主要メンバー：米、中、英、韓、独、仏、WiMAX Forum, Qualcomm, Ericsson,BT, 日本代表团（小松、新、小畑、山口、北、他）全 60 名程度
- (3) 入力文書：Doc.5D/INPUT/
(MBWA / FBWA)
- 242 (Ch5)：第 2 回会合の議長レポート 5 章 ATT. 5.12、ATT. 5.13、ATT. 5.14 (前回会合の作業文書)
ATT. 5.12 は FBWA、ATT.5.13 は System B (IMT: IMT-OFDMA TDD WMAN)、ATT. 5.14 は System A (non-IMT: HC-SDMA)に関する共用検討レポート
 - 276 : BWA Sharing Study の Correspondence 活動の CG 議長からの活動報告
- (4) 出力文書：Doc.5D/TEMP/
(FBWA)
- 115R1V2 (SWG Sharing) :FBWA 共用検討レポート M.2113 の更新最終化版
(MBWA)
 - 118 (SWG Sharing): CDMA-DSとIMT-2000 OFDMA-TDD-WMANの共用レポート作業文書
(MBWA / FBWA)
 - 103R1 (SWG Sharing) : Sharing のレポートに関するワークプラン

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は、2.5GHz 帯 FBWA 共用検討レポート M.2113 への補足修正と MBWA 共用検討レポートの作成作業を行う。

前回会合終了後から BWA Sharing Study の Correspondence 活動が実施され、System B(IMT)部分はエディトリアルな修正が加えられた 5D/INPUT/276 が CG 議長からの活動報告として入力された。一方の System A(non-IMT)の更新作業は行われなかった。また、FBWA 関連の更新において、中国から JIVE が機能しなかったために入力ができなかったと SWG で説明があった。中国は入力を元に更新作業を続けることを希望したため、DG 内で審議することとなり、更新作業を実施することとなった。

今会合では System A に関する入力がなく、議長より作業打ち切りが提案され、特に反対意見なく了承された。System B の作業文書に関しては ACS、ACLR の明確化が必要との観点から、議長報告に添付された形で次回会合に引き継がれることとなった。M.2113 に中国から CDMA-TDD との共用検討結果を反映し、作業を完了した。

(5-2) 審議概要と結果：

① MBWA 共用検討レポート検討作業

- CG 議長から CG 活動の報告があった。System A(non-IMT)に関しての入力はなく、一方、System B(IMT)に関してはエディトリアルな修正が完了した。CG 議長の報告を受けて DG 議長から System A 作業を続けるかとの質問があった。これに対してエディターからは作業終了に賛成の意見があり、特に反対意見がなかったため、作業を完了として SWG で審議することになった。
- System B の作業文書は 60dB フィルタと reference に関しての修正が完了していたが、第 1 回 DG でエリクソンからエディトリアルな修正の希望があり、エディターとオフラインで修正することになった。第 2 回 DG では修正が追加されたが特に反対意見がなく作業文書に反映された。
- ACS の取り扱いに関して、レポートの完成予定が今回会合であったことから議長から、ACS 値は現在記載されている値のまま作業を進め、他のグループの審議が完了した段階で修正を行うことが提案されたが、Qualcomm が反対、英からは ACS の明確化、仏からは AH ACS での結論を待つべきだと考えが示された。
- 結果として今会合でのアップデートを反映した作業文書(5D/TEMP/118)を作成した。

② FBWA 共用検討レポート検討作業

- 第1回の SWG Sharing の結果を受けて中国から改めて JIVE が機能しなかったこと、更新作業自体は終了していることが報告された。
- DG 議長からは可能であれば更新作業を続けたい意見がでて、特に反対意見がなかったため、第2回 DG に中国の更新を反映した作業文書を入力することになった。
- 第2回 DG でエディターから作業文書が入力された。内容については特に反対意見はなかった。DG 議長からは、2.7 (Conclusion) の内容を明確にするため、章ごとのタイトルで対象システムを明確にした表現とするよう提案があり、エディターで修正するとなった。また、共用検討で使用した CDMA-TDD と 802.16 TDD の ACLR と ACS については Annex H に追加されている。
- 更新内容に対しては特に反対意見がなく DG での M.2113 の更新作業は完了した(5D/TEMP/115)。また、SWG 議長から更新作業が終了したことを WP5A に知らせるリエゾン文書を作成するとコメントがあった。
⇒WP5A, 5C へのリエゾン文書(5D/TEMP/130)が WG SPEC で承認された。
- Plenary で修正が加えられた 5D/TEMP/115R1V2 承認された。

③ マイクロワークプランの改訂

FBWA は本会合で最終化し SG5 に提出、MBWA System A は更新がないため作業打ち切り、MBWA System B に関しては次回第4回会合で最終化するというワークプランのアップデートを実施した。

(5D/TEMP/103R1)

(5-3) 今後の課題

MBWA に関しては、ACS(AH ACS), ACLR(SWG M.1580/81)の明確化が最終化に必要。また、M.2113 の改定に関しては中国の入力を反映したレポート更新作業は終了したが、正規の審議プロセスを経ていないため SG5 での承認に影響する可能性がある。

5. 3. 1. 2 DG M.2039

(1) 議長： John Williams (WiMAX Forum)

(2) 主要メンバー： 主要メンバー：米、中、英、韓、独、仏、露、Intel、WiMAX Forum, BT, Qualcomm, Ericsson, 日本代表団（小松、小畑、新、北、山口、他）全60名程度

(3) 入力文書： Doc.5D/INPUT/

- 107: LS from WP5A(前会合からキャリーフォワードされたもの)
- 242 Att 5.15(現在の作業文書。)

(4) 出力文書： Doc.5D/TEMP/

- 105 (SWG Sharing): LS to WP5A
- 110 (SWG Sharing): 今会合におけるレポートM.2039の修正作業を記録した文書

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は OFDMA-TDD-WMAN が 6 番目の IMT-2000 無線インタフェースとして認められたため、WP5A のリエゾン (5D/107) に従い、従来 BWA の共用検討レポート(M.2116)に含まれていた Mobile WiMAX の内容を IMT-2000 の共用検討パラメータレポート(M.2039)に移管する作業を行うために第2回会合で設立され、今会合で作業を継続した。作業は前会合で合意した作業文書(議長報告 5D/242 Att5.15, オリジナルのソースは 5D/163)に基づいて行われた。作業は完了には至らず、議長より、「今会合で M.2039 の作業を完了することが

できなかった」旨の WP5A への liaison letter のドラフトが提示され、了承された。

(5-2) 審議概要と主要結果

M.2039 の修正作業（最終版：TEMP/105）

- 端末アンテナ高、受信感度、許容干渉対雑音電力比、許容干渉電力、想定するパスロス、アンテナ高、フィーダーロス、熱雑音電力、受信に含まれるその他のロスなどの値に関して合意に達した。
- ACS, ACS2 に関連した内容は WP5D での結論が出るまで承認を延期することとなった。
- 帯域幅、最小 SNR 値などに関しては定義がばらばらであり、今会合では同意に至っていない。
- 議長より、「今会合で M.2039 の作業を完了することができなかった」旨の liaison letter を WP5A に入力することとし、コメントなく文面を了承した。

(5-3) マイクロプランの更新

第 4 回会合に向けて作業予定を審議した。内容は第 4 回会合で作業を完了するというものである。

(5-4) 今後の課題

M.2039 に関しては WG-TECH における ACS、ACLR の審議内容と整合性のある内容で合意されるよう注意が必要である。

5. 3. 1. 3 AH ACS

(1) 議長：Mr. Yannick.Li (仏)

(2) 主要メンバー：仏、独、伊、英、米、スウェーデン、フィンランド、中国、韓国、WiMAX-F、Intel、Qualcomm、
広池、新、小畑、北、山口、小松、他 全 50 名程度

(3) 入力文書：.5D/245(IEEE), 259(WiMAX Forum), 315(仏/独)

(4) 出力文書：

5D/TEMP/111R1	ACS の明確化に関する WiMAX Forum へのリエゾン
5D/TEMP/112	ACS 及び試験条件に関する 3GPP へのリエゾン

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

前会合において、IEEE 及び WiMAX-F に ACS を求める計算式と条件に関して説明を求めるリエゾンを要求し、今会合に IEEE、WiMAX-F、仏/独から入力文書があった。本 AdHoc は、勧告 M.1457 とレポート M.2039 における ACS 値の違いの明確化、ACS 値そのものを議論するため、SWG-Sharing 第 1 回会合で設立が合意され、AH 議長として Mr. Yannick.Li 氏（仏/FT）が選出された。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ 議長より、作業手順として、計算式と条件を明確にし、それらにより計算して値を出すことが提案された。
- ・ Intel より、その作業方法に懸念がある、ACS 値は SDO から提供されたものであり、我々（WP5D）が変えるべきでない、SDO から提案された値に基づいて ITU-R の勧告やレポートが作成されてきたと指摘された。
- ・ 結局、議長提案の作業手順は採られず、M.1457 の値と M.2039 の値の違いの議論、今後のアクションとなった。
- ・ BT より、M.1457 の値と M.2039 の値の違いについて、M.1457 の値は 6GHz までの複数の周波数に適用される最低保証値(Minimum guaranteed value)、最低要求条件(minimum requirement)であり、M.2039(M.2113)の値は共用検討に用いるための典型的な値 (typical value for sharing study) であると説明された。
- ・ 独が BT の見解を支持し、SDO との協調関係を継続し、新たな値の提案を求めていくことを提案し、議長が

SDO に正しい新しい値を提案するよう求めるリエゾンを出すことを提案した。

- ・ Intel は、リエゾンを出すことに反対しないが、提案された値をそのまま採用することも簡単な解の一つだと主張した。
- ・ WiMAX-F より ACS の定義が曖昧とし、議長が受信機のフィルタの非線形性から生じるもので、3GPP では受信感度を基準に決めていると説明された。
- ・ 独より、M.2039 の改訂を本会合で完成することになっているが困難と指摘し、仏も次回に適切な成果 (positive outcome) を出すことを提案した。
- ・ Intel は、M.2039 には提案された値を入れて典型値であることのノートを追加することを提案したが、議長は M.2039 での扱いは本アドホックの所掌外、所掌は値を決めることであると主張した。
- ・ 議長より、「提案された ACS 値を共用検討に用いる典型値として合意するか」と確認したが、WiMAX-F はリエゾンの求めに応じて提出したもので共用検討に用いる値とは考えていないとし、合意されなかった。
- ・ 結局、再度 OFDMA TDD WMAN (WiMAX) の ACS の明確化を求めるリエゾンを WiMAX Forum 及び 3GPP に出すことになり、オフラインでリエゾン案が作成され、SWG-Sharing にて承認された。
- ・ WiMAX Forum 向けのリエゾンとして、数年前に提供された ACS 値は M.1457 に記載された ACR (Adjacent Channel Rejection) や SNR (から求められたものでないとし、WiMAX Forum 固有の ACS 値、あるいは WiMAX Forum の定義した ACR や SNR から求められた ACS 値の提供を求めるもの (5D/TEMP/111R1)、3GPP 向けのリエゾンとして、M.1457 の CDMA-DS パート (5.1) では ACS のテスト条件を 3GPP 仕様 36.101 (V8.0.0 (2007-12)) のように「REFSENS (基準受信感度) +14dB」としていることから、この「REFSENS (基準受信感度) +14dB」の根拠の説明を求めるもの (5D/TEMP/112) が作成された。

(5-3) 今後の課題

- ・ WG-TECH での M.1457、M.1580/1581 で議論されている ACS、ACR の値、WiMAX (FDD) の取扱の動向に注意する必要がある。

5. 3. 1. 4 AH PARAMETER

(1) 議長： Mr. J. P. Millet 氏 (仏)

(2) 主要メンバー： 仏、独、伊、英、米、スウェーデン、フィンランド、中国、韓国、NZL、WiMAX-F、Intel、Qualcomm、広池、新、小畑、北、山口、小松、他 全 50 名程度

(3) 入力文書： Doc.5D/101 (WP5B), 166 (F), 244 (IEEE), 249 (TIA), 254 (WiMAX Forum), 292 (3GPP), 298 (UK)

(4) 出力文書：

5D/TEMP/108R2 UHF 帯の IMT パラメータに関する WP4C へのリエゾン

5D/TEMP/109R2 IMT パラメータに関する外部 SDO へのリエゾン

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

前会合において、IEEE 及び WiMAX-F に ACS を求める計算式と条件に関して説明を求めるリエゾンを要求し、今会合に IEEE、WiMAX-F、仏/独から入力文書があった。本 AdHoc は、勧告 M.1457 とレポート M.2039 における ACS 値の違いの明確化、ACS 値そのものを議論するため、SWG-Sharing 第 1 回会合で設立が合意され、AH 議長として Mr. Yannick. Li 氏 (仏/FT) が選出された。

(5-2) 審議概要と主要結果

- ・ 今会合では、主に WP5B (UHF 帯における ARNS 航空管制レーダとの共用検討を実施予定) へのリエゾン

バックについて審議が行われ、入力文書に基づき、W-CDMA/LTE、cdma2000/HRPD/UMB、WiMAX のパラメータを提供するリエゾン(5D/TEMP/108R2)が作成され、承認された。

- ・ WP5B からのリエゾン(5D/102)では、移動業務パラメータとして IMT に限定せずにパラメータを要求していたが、リエゾンバックのタイトルを IMT パラメータとするか移動業務パラメータとするかが議論され、後述のように、一般移動業務は WP5A が所掌と明記し、タイトルは IMT パラメータとすることで合意された。
- ・ ZDF&NDR (独) の指摘により、パラメータが全て揃っていないことが確認され、本リエゾンで提供するパラメータが暫定値 (Preliminary) であること、不足している項目があり今後検討する必要があることを明記することになった。また、HRPD の Spectrum Mask の欄には、TIA の M.1580/1581 への修正提案を参照としていたが、現在の M.1580-2/1581-2 には HRPD が含まれていないとし「M.1580-2/1581-2 の将来の改訂版を参照」とされた。
- ・ Intel が、WP5D からは IMT だけのパラメータを出すべきと指摘し、Lucent も WP5D は IMT を扱うが一般の移動業務は WP5A が扱うとし、リエゾン本文に、IMT 以外のシステムは WP5A が所掌であることを明記し、WP5A にも Copy として送付することになった。また、NDR の提案に基づき WP6A にも Copy を送付することになった。
- ・ Qualcomm が WiMAX(FDD)は M.1457 に存在しない (IMT-2000 として認められていない)、WiMAX(TDD)も M.1457 に UHF 帯のパラメータは無いと指摘し、「現在は IMT-2000 でないが、(IMT-2000 に) 含めることを要求する動きがある」とノートし、帯域については WiMAX Forum で検討されている UHF 帯のバンドクラスのテーブルを添付することになった。Qualcomm の懸念は、WG-SPECTRUM 議長報告にも記載されることになった。
- ・ 外部 SDO に対しても、情報提供のお礼と現状の状況を知らせるリエゾンを送付することが作成され、承認された。当初は、WP5B へのリエゾンに添付するパラメータ表と同じものを添付する予定であったが、WP5B へは UHF 帯に限定する内容としたため、SDO へのリエゾンにおいては、提案された全ての周波数帯 (バンドクラス)、バンドクラス毎の移動機送信出力 (e.r.p または e.i.r.p) を含むパラメータ一覧表を添付することになった(5D/TEMP/109R2)。

(6) 今後の課題 :

- ・ WP5B へのリエゾンでも「不足しているパラメータがある、幾つかは暫定値であり将来改訂される」と明記しており、今後新たなパラメータが入力される可能性がある。一方、WP5B、外部 SDO へのリエゾンに添付した現在のパラメータリストは、単独の文書としてキャリアオーバーしておらず、今後 M.2039 の改訂で新規に扱われる可能性もある。
- ・ 日本で導入している帯域、今後予定している帯域におけるパラメータが議論される場合、日本に不都合が生じないように、審議の動向に注意し適切に対応する必要がある。

5. 3. 2 SWG FREQUENCY ARRANGEMENTS

(1) 議長 : Mr. Zhou Meng (中)

(2) 主要メンバー : 米、英、仏、独、加、中、韓、露、豪、ニュージーランド、スウェーデン、フィンランド、ブラジル、WiMAX-Forum、カルコム、インテル、エリクソン、ノキア、サムソン、坂中、橋本、佐藤 (孝)、佐藤 (一)、小松、小畑、北、山口、新、全 70 名程度

(3) 入力文書 : Doc.5D/251(Alcatel-Lucent, et al.), 268 (加) , 269 (加) , 275 (エリクソン) , 280 (ニュージーランド) , 281 (ニュージーランド) , 284 (韓) , 285 (中、韓、ロシア、ニュージーランド、シンガポール、ベトナム) , 294 (独) , 307 (中) , 311 (フィンランド) , 317 (ブラジル)

(4) 出力文書：

SWG 議長報告：Doc.5D/TEMP/117Rev.1

作業文書：5D/TEMP/100（698-960MHz 帯の周波数アレンジメントの策定に向けた新レポート案[IMT.700]の作業文書）、116（周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂案の作業文書）

ワークプラン：5D/TEMP/113Rev.1（勧告 M.1036-3 の改訂案作成に関するマイクロワークプラン）

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

WRC-07 において新たな周波数が IMT に特定されたことにより、WP5D 第 1 回会合で周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂で対応することが合意され、勧告改訂の作業が実施されている。本 SWG は、WG-SPEC の第 1 回会合で SWG の設置が合意され、SWG 議長に Mr. Zhou Meng (中) が就任した。また Editor として、Ms. Amy L. Sanders (Alcatel-Lucent) が務めた。

(5-2) 審議概要と主要結果

第 1 回会合では、入力文書の紹介、及び今後の作業方法の議論が行われた。主だった議論があった入力文書については以下の通り。

5D/269 (加)

- ・ ZDR&NDF より、Digital Dividend に関わる内容は SG6 で作成すべきであること、カナダ提案は 698-806MHz 帯を対象にしているが、第一地域では 790MHz 以上が対象とすべきとのコメント。仏、独は SG6 で検討することに反対。
- ・ 豪、Qualcomm はレポートの作成を支持。

5D/275(イタリ)

- ・ Qualcomm からは、5D/251 の提案内容と調整が必要とコメント。
- ・ ロシアは本提案に否定的な意見を述べたが、スウェーデンからは可能性のある周波数アレンジメントは入れるべきと支持。

5D/281 (ニューゼーランド)

- ・ イタリは、現在までに 2300-2400MHz 帯で FDD を検討しているところはないとして、FDD, TDD の配置を示した X1 の提案に反対。Intel は、X1 は Flexible FDD/TDD(X2)に含まれるとコメント。
- ・ スウェーデンは Flexible FDD/TDD の提案(X2)について、何も勧告していないとして反対。ノキアが支持。一方、米国は 2.5GHz 帯の例をあげて、Flexible FDD/TDD の考えは問題ないと反論。
- ・ 中国は周波数アレンジメントのパターンは最小にすべきとコメント。

5D/294 (独)

- ・ カナダより、790-862MHz の Reversed duplex direction の提案については、M.1036-3 内の既存の A1 の周波数配置と矛盾があり問題と指摘。日本もカナダと同様の懸念があることを指摘。独は、当該提案は第一地域に限定してもよいと回答。
- ・ ZDF&NDR は放送業務とのガードバンドの技術的な検討が行われなくて周波数アレンジメントの検討が行われることに懸念を示したが、独、仏、Orange は、当該検討は CEPT でも行われていると反論。

5D/311 (フィンランド)

- ・ 日本は、フィンランドの考え方を支持し、M.1036 の改訂作業を行う上で、リソース、スケジュールを考える必要があるとコメント。

また、作業方法については、SWG 議長からの提案に基づいて、以下の進め方とすることが合意された。

450 -470MHz 帯	提案者の間で、オフラインで調整。
---------------	------------------

2300-2400MHz 帯	TDD-only と Flexible FDD/TDD を入れ、多くの国では TDD が使われているとのコメントを付ける。
M.1036 の構成等の変更	DG を設置して議論、DG 議長はカナダ。
マイクロワークプラン	SWG で議論。
UHF 帯の新レポート案作成	議長報告に添付してキャリアフォワードし、位置づけを含めて引き続き議論。

第 2 回会合では、マイクロワークプランの改訂に関連し、入力文書 Doc.5D/285 (中国他)、284 (韓)、311(フィンランド)に基づいて議論を行った。主な議論は下記の通り。

- ・ 周波数アレンジメントの完成時期を遅らせることについて、韓国の提案は 2.3GHz 帯を念頭においたもの、フィンランドはすべての周波数帯を念頭においたもの、と回答が行われた。
- ・ ニュージーランドからは、3.4-3.6GHz の検討には時間がかかるので、すべての周波数帯の完成を待つことについて懸念が示されたが、将来的なことであるので現時点では適宜見直しとするノートを付せばよいとのコメントを行った。
- ・ フィンランドからは、すべての周波数帯の完成時期をあわせるべきとしつつ、韓国からの提案に基づいて第 6 回会合まで完成時期を遅らせ、その時点で再度見直しをするべきとの提案を行った。この意見を、ドイツ、日本が支持した。
- ・ 以上の意見から、勧告改訂案完成時期を第 6 回会合まで延期するとともに、第 5 回会合にも"Review and revise workplan as necessary"との文言を追加した。
- ・ 米からは、(カナダ提案の) Section 構成の変更について、第 4 回会合でレビューするとの文言を明確にするための提案があり、合意された。
- ・ 中国からは、すべての周波数帯の完成時期を第 6 回会合 (2009 年 10 月) にするのかと確認が行われたが、Editor からはまだ決まっていない (すべての可能性がある) と補足が行われた。

第 3 回会合では、勧告 M.1036 の修正作業に関わる DG からの報告が行われ、一部修正を行った後、キャリアフォワードすることとした。また、マイクロワークプランの改訂に関わる TEMP 文書が紹介され、一部修正の後、合意された。勧告 M.1036 の修正に関する主な議論は以下の通り。

- ・ DG-1036 議長の J.Costa (加) より、文書 Rev.M.1036R1 の修正概要が説明された。
- ・ SWG 議長より、当該文書は次回 WP5D 会合にキャリアフォワードして、議論を続けたいと報告された。
- ・ Introduction に記載する IMT に特定された周波数の記載方法として、Alternative 1, 2, 3 が示された。カナダは Alternative 2 を支持し、Alternative 3 において 698-862MHz 帯を分割した表示は不適切と指摘した。フィンランドは Alternative 1 または Alternative 3 において特定した WARC/WRC の欄を設ける提案。仏、日は現時点では Preference を示さず。なお、日本からは Alternative 1 の 2500-2690MHz の部分の記載で、(for the terrestrial component and parts of it for the satellite component of IMT 2000)は RA-07 で追加された部分であり削除には注意が必要。中国は、Alternative 2 または 3 を支持。ニュージーランドは、結論は次回に先延ばしすべきとコメントし、米も支持。最終的に、次回 WP5D 会合で継続議論することとした。
- ・ Reverse duplex direction の記載について、カナダは既存の周波数配置と矛盾するので問題とコメント。米は、当該記載を Annex 等の適切な場所に移動すべきと主張。独からは、当該記述は第一地域において重要であると指摘。カナダから、Duplex direction の部分において、It is recommended ... の記載を削除すればよいのではと提案があったが、ニュージーランドからは当該部分は recommends part であるので、アプローチとしては適切でないと反論。
- ・ DG 議長の J.Costa より、一部の周波数帯のみを完成させても承認が可能かとの指摘があった点に基づいて、3.4-3.6GHz 帯については、TBD ではなく for further study として作業文書に反映した。

- ・ China Mobile より、450-470MHz について TDD について検討すべきとの提案があり、次回の寄与文書で提案したいとコメントがあった。
- ・ 中国より、2.3GHz 帯の For unpaired frequency arrangement を For TDD frequency arrangement に修正する提案が出され、作業文書に反映した。
- ・ ノキアより、Also, some administrations may deploy IMT 2000 systems in bands other than those identified in the RR. の文章を削除してはどうかとの提案があったが、日本はそのような国の可能性があり削除に反対したため、作業文書には変更が行われなかった。

最終の第 4 回会合では、以下の点が確認され、第 3 回会合での SWG-Frequency Arrangements の活動を終了した。

- ・ 勧告 M.1036 の改訂については、既存の勧告 M.1036-3 に対する修正履歴のみを残して、作業文書を次回 WP5D 会合にキャリアフォワードする。
- ・ カナダからの UHF 帯の新レポート案作成の提案(5D/269)については、カナダの入力文書を TEMP 文書に修正し、作業文書としてキャリアフォワードする。

(6) 今後の課題：

- ・ 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂や、698-960MHz 帯の周波数アレンジメントの策定に向けた新レポート案[IMT.700]の作成に対しては、我が国では、3400-3600MHz、及び 698-806MHz 帯域の一部を IMT に使用予定であることを踏まえ、適切に対処していく必要がある。

5. 3. 2. 1 DG 1036

(1) 議長： Jose Costa (加)

(2) 主要メンバー： 米、英、仏、独、加、中、韓、露、豪、ニュージーランド、スウェーデン、フィンランド、ブラジル、WiMAX-Forum、ケルコム、インテル、エリクソン、キア、サムソン、坂中、小松、佐藤（一）、小畑、北、山口、新、全 60 名程度

(3) 入力文書： Doc.5D/268 (加) , 269 (加) , 317 (ブラジル)

(4) 出力文書： Doc.5D/TEMP/116 (周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂案の作業文書)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

本 DG は、SWG-Frequency Arrangements の第 1 回会合の合意に基づき、周波数アレンジメント勧告 M.1036 の改訂に関して、構成、記述等の修正提案を行っている入力文書について審議を行った。DG 議長は、Jose Costa 氏 (加) が務め、会合は 1 回開催された。

(5-2) 審議概要と主要結果

入力文書の提案をマージした作業文書が DG 議長より提示され、それに基づいて議論を行い、修正作業を完了した。主な議論は以下の通り。

- ・ 独からの提案に基づいて、タイトルを短縮化した (具体的な周波数帯の記載をタイトルから削除)。
- ・ 第 1 章に含まれる IMT 周波数が列挙された記載の修正 (Annex 等にまとめる) について議論となり、既存テキストに基づき WARC/WRC 毎の周波数帯を列記する方法(Alternative 1)、IMT に特定されている周波数帯を列記する方法(Alternative 2)、表形式で周波数帯と RR の関連脚注を列記する方法(Alternative 3)、を併記しておくことで合意した。本議論において、Alucatel-Lucent からは、既存テキストの WARC/WRC の記載は削除し、単純に IMT に特定されている周波数帯だけを列挙する提案が出されたが、フィンランドが歴

史的に特定されてきた記載を残すべきとして反対した。

- ・ 関連文書の章は、Related Recommendation and Reports に修正。NDR&ZDF からは、GE-06 の合意文書についても記載すべきとの提案があったが、後ほど検討することとした。
- ・ 独からの提案により、Related Recommendations and Reports で列挙された文書については、considering で再度触れないことで合意。後ほど、Editorial に修正。
- ・ フィンランドの提案により、considering b)に” and frequency arrangements” を追加提案があり、スウェーデンが支持。米、英からは、[]付きにすべきとの意見があり、結論が出ないため[]付きのままとした。
- ・ カナダからの提案である、周波数帯毎に Annex に具体的な周波数アレンジメントの記載を移動させることについて、米より Annex に移動させた場合に、勧告の承認の処理がどのようになるのかについての確認、及び Annex のすべてが完成しない場合に勧告の承認が行われぬかとの確認が行われた。DG 議長からは、特定の周波数帯については For Further Study ということにしておいても承認可能ではないかとの見解が示された。作業文書にはカナダからの提案は反映することとして、次回 WP5D 会合で継続審議することとした。独はこの点について次回 WP5D 会合で再度コメントすると述べた。
- ・ 独からの Reversed duplex direction の提案について、compatibility の記載について NDR&ZDF が反対した。仏からは”within CEPT”での検討と、追記をする提案が行われた。カナダからは既存の A1 の配置に反すると懸念が示された。中国からは、CEPT の検討は他の Region の検討にも有益とコメントした。最終的に全体は[]付きとして、次回 WP5D 会合で継続検討することとした。
- ・ ブラジルからの提案で、各周波数帯の具体的な周波数アレンジメントを説明する文章の冒頭で、”taking into consideration existing public mobile systems”の文言を削除することについては、豪が支持し、削除した。

(6) 今後の課題

- ・ 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂は、我が国では、3400-3600MHz、及び 698-806MHz 帯域の一部を IMT に使用予定であることを踏まえ、適切に対処していく必要がある。

5. 4 WG-DEVELOPING

(1) 議長： Javier Camargo (メキシコ)

(2) 主要メンバー： 中国、米国、ドイツ、コロンビア、スウェーデン、佐藤(一)・吉井・鬼頭 全16名程度

(3) 入力文書： 5D/319(ITU-D)

(4) 出力文書： 5D/TEMP/114 (議長報告)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

WG DEV は発展途上国の立場から IMT-2000 及びそれ以降のシステム及びサービスについて審議するのが所掌である。

(5-2) 審議概要と結果：

- ・ WG-DEV は会期中に2回開催された。
- ・ 会議の冒頭に WG の名称が”DEVELOPING IMT”から”DEVELOPING ASPECTS”に変更となったことが、議長よりアナウンスされた。
- ・ 今回の会合では ITU-D Q18-1/2 からのリエゾン(5D/319)に対する回答について審議が行われた。
- ・ リエゾンの内容は、「ITU-D Question 18-1/2 の最終レポート」の目次案が完成したことを示し、その材料の提供を期待しているということ、および、” Guidelines on the Smooth Transition of Existing Mobile Networks to IMT-2000 for Developing Countries” の改訂を行うので、これについても寄与を期待してい

るというものである。

- ・ WP5D には発展途上国のエキスパートはいないので、ニーズを踏まえたサービスなどを定義できないと言うスウェーデンの反対意見もあったが、ITU-D は情報を集めているので、WP5D は技術的な内容で貢献すべきとの議長の意見により、その方向で章ごとに WP5D が貢献できそうな内容を設定した。4章の衛星関連に関して、コロンビアから、サテライトは主なコンポーネントではないため地上系に注力すべきとの意見があったが、米国の提案によりバックホールとしての利用について記述することとなった。5章にライセンスに関する項目があるが、ライセンス関連は WP5D の所掌事項ではないとのドイツの意見により対象から除くこととした。
- ・ ITU-D Q18-1/2 の次回会合が3月に予定されているため、寄書入力を期待して、リエゾンバックの完成を次回 WP5D 会合で行うこととした。

(6) 今後の課題

特になし。

5. 5 AH WORKPLAN

(1) 議長：Hakan OHLSEN（スウェーデン）

(2) 主要メンバー：S.Blust (WP8F 議長)、KJ.Wee (WG-SERV 議長)、A. JAMIESON (WG-SPEC 議長)、S.Lixin (WG-TECH 議長)、M.Grant (SWG-Radio Aspect 議長)、J.Ragsdale (米)、J.Costa (加)、S.Green (UK)、坂中、橋本(SG5 議長)、佐藤、広池、吉野、石川、畑川、林(日)、佐藤(一) 他、全約 30 名

(3) 入力文書：

Doc. 5D/ 282 (ニュージーランド)：ITU-R 勧告 M.1456, M.1545, M.1579 及び M.1646 のスコープ案

Doc. 5D/242 (WP5D 議長)：前回 WP5D 第2回議長報告第2章「ITU-R WP5D の構成とワークプラン」

(4) 出力文書：

5D/TEMP/131 (AH WORKPLAN の会合報告)

5D/TEMP/132 (SG5 にノートを求めた WP5D 維持管理の ITU-R 勧告 M.1456, M.1545, M.1579 及び M.1646 のスコープ)

5D/TEMP/133 (WP5D 議長報告 第2章「構成とワークプラン」の最新化版)

(5) 審議概要：

(5-1) 所掌と経緯

中長期的作業計画に従って活動する必要があるとされた経緯から、毎会合ごとに Living Document として各作業グループ間の相互に関連ある作業計画等の調整作業を行うこと、また、WP5D 全体のワークプランを最新化する作業を行っており、結果を WP5D 議長報告の第2章として添付している。

今回会合では、前回第2回 WP5D 会合に引き続いて旧 WP8F 時代のワークプランを RA-07 以降の新 WP5D の活動に合わせるために、作業の一部を WG-SERV に委託して大幅なアップデートを行なう。

(5-2) 審議経過

- ・ 今回会合では、AH-WORKPLAN は1回開催された。
- ・ 前回 WP5D 第2回ドバイ会合への入力寄書 Doc. 5D/152 (SG5 議長) のアタッチメント1として添付された WP5D が維持管理すべき IMT に関する関連勧告 (M シリーズ) パート2の analytical list を確認する作業、また、その内の4つの勧告に新たにスコープの追加を行い SG5 会合へノートを求める作業を行った。
- ・ 前回 WP5D 第2回ジュネーブ会合の議長報告 (Doc. 5D/242) の第2章を最新化する作業が行われた。

- (i) 「ITU-R 勧告 M.1456, M.1545, M.1579,及び M.1646 のスコープ案」(5D/282)の審議：
前回会合で作成を託された A. JAMIESON 氏（ニュージーランド）から説明が行われた。
- ① M.1545 のスコープ案の審議と結果：
 - ・ N. MAGNANI（テレコムイタリア）から、この勧告はコア規格値の緩和を目的とした勧告であり、ケースバイケースで対策は考えられていること、例えば、measurement uncertainty は一例として採用されていると意見し、ドラフトから measurement uncertainty を目的とするとの文言を削除し、承認された。
 - ② その他のスコープ案の審議と結果：
 - ・ M.1456, M.1579,及び M.1646 のスコープ案には、特に異論も無く承認された。
 - ③ 今後の取り扱いについて：
 - ・ 次回の S G 5 会合へは、Doc.5D/152 に対する回答としてノートを求めて提出することとした。
 - ・ なお、上記の 4 つの勧告に 5D/TEMP/132 によるスコープのテキストを追加することとされ、エディトリアルな修正との扱いとされる（決議 ITU-R 1-5 第 11 章のプロシジューアに拠る）。
 - ④ 最終日の WP5D プレナリー会合の結果：
 - ・ 上記の結果の出力文書（5D/TEMP/132）が異論無く承認された。
- (ii) WP5D のワークプランの会合毎の見直し及び最新化（Doc. 5D/242 を対象に作業が行なわれた）：
前回から引き続いて、RA-07 以降の新会期に対応し、旧 WP8F から新 WP5D のワークプランへの見直しと最新化が行なわれた。
- ① WG-SERV との作業の分担の結果：
 - ・ 前回 WP5D 第 2 回会合で、WG-SERV が WP5D 議長報告第 2 章アッタチメント（Att.）2.1（Working Party 5D Terms of Reference）および 2.7（Long-range WP5D work program plan）の作業を分担することになった。
 - ・ 今回、WG-SERV で完成し承認された結果を WP5D 議長報告第 2 章に挿入された。
 - ② 最新化の結果：
 - ・ WG SERV の正式名称が元「Service Aspects」であったが、技術及びスペクトラム以外を扱う WG との性格付けから、「General Aspects」と改名された。同様に WD DEV は Developing Aspects と改名した。
 - ・ WG SPEC 議長から、次回会合から「SWG Global Circulation」を WG General Aspects の下に設けるとのコメントが述べられた。ITU-R 勧告 M.1579 の改定および関連事項を担当するとされている。
 - ・ 会合スケジュールでは、第 4 回会合が元インド（会期 2009-2/11～18）であったがジュネーブに変更され、また、会期は 1 日前倒し（2009-2/10～17）と変更された。
 - 第 5 回会合（2009 年 6 月会合）は中国での開催であったが、第 9 回会合（2010 年 10 月）を中国で開催に先延ばしとなった。今のところ、第 5 回会合の開催地はジュネーブまたはアジアとされているが未定である。
 - ・ オーバーオールスケジュールでは、IMT-EVAL が遅延して今回で完成したが、提案招請は第 1 回会合のサーキュラーレターで終わっていることを確認し、以降のスケジュールは現状通りで変更はないと再確認された。
 - ・ 2011 年 2 月頃の第 10 回会合で「IMT.RSPEC」の第 1 版を出すことになっている。ここまでは、1st サイクルとし、その後の扱いは「Start of Update Process」とする次サイクルと明確化することとした。
 - ・ WRC-07 で、決議 953 および 956 は新たに WP5D にアサインされたので追加した。

- ・ 課題 229-2/5 は SG5 で承認されたものに新たに差し替えた。
- ・ 新たに「Liaison related work to be noted」をアタッチメント 2.10 に設けた。

(5-3) 審議結果

- ・ 入力寄書 Doc. 5D/152 (SG5 議長) のアタッチメント 1 として添付された WP5D が維持管理すべき IMT 関連の勧告 (M シリーズ) パート 2 の analytical list を確認し、また、その内の ITU-R 勧告 M.1456, M.1545, M.1579 及び M.1646 のスコープを新たに追加し承認した。SG5 にはノートを求める。
- ・ WG-SERV が担当し今回完成した Att.2.1 及び 2.7 が挿入され、第 2 章のワークプランの最新化が行われた。
 - 次回 WP5D 第 4 回会合は、インドで開催する予定がジュネーブで開催することに変更された。尚、会期は 2009 年 2 月 10 日～同 17 日と一日前倒しとなった。

(5-4) 今後の課題

- ・ 毎会合でスケジュールをフォローし、2011 年 2 月頃の WP5D 第 10 回会合で「IMT.RSPEC」の第 1 版を出すスケジュールを維持すること。

Attachment 2.9

Potential new deliverables [

This provides a pictorial view of the selected deliverables and other texts (CPM, etc.) to be developed in WP 8F, also shown in table 2.7. This assumes specific WRC decisions (see previous sections).

		2003		2004		2005		2006		2007		2008	2009	2010	>2010			
CPM/WRC meeting		?WRC								? CPM WRC?								
SG 8 meeting			?			?		?			?	?						
WP 8F meeting No.		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22				
Services/market aspects (SERV)		Service View				Services												
		Market																
		Naming				Naming												
Spectrum (SPEC)		CPM Text																
		Candidate Spectrum																
		Mitigate																
		Comp		Sharing														
		UWB																
		M.1036 Rev 2				Methodology												
Migrate (MIGRATE)		Texts																
		Handbook update (if required)																
Developing (DEV)																		
Technology (TECH)		SDR																
		Radio aspects								Radio Technologies								
		M.1079 Rev2												Evaluation Methodology				
		M.1580/1																
Enhancements to IMT-2000		Annual revisions to M.1457 and, if necessary, revisions to other Recommendations on IMT-2000																
														IMT.RADIO and subsequent revisions, if necessary				
New radio interface(s) for systems beyond														IMT.RSPEC and subsequent revisions				
Complementary work to be performed outside ITU	IMT-2000 and enhancement	Development of detailed specifications for enhancements of IMT-2000																
	Systems beyond IMT-2000	Research on new technologies																

Key:

WRC-07 related deliverables

Recommendations

Reports/Circulars etc.

5. 6 AH CIRCULAR LETTER

今会合期間中は開催されなかった。

5. 7 AH VOCABULARY

本AHへの入力文書がなかったため、開催されなかった。オフラインでAH議長は、時期をみてRecommendationをチェックする形で開催したいが、次回会合は開く予定はないと述べていた。

6. Region 3 非公式会合

(1) 議長：佐藤(日本)

(2) 主要メンバー：Y. Wan(中国)、K.J.Weese, H.S.Seong(韓国)、坂中、白石、広池(日本)、A.Jamieson(ニュージーランド)、Hendric(オーストラリア)、Nasruddin(マレーシア)、Nguyent(ベトナム)、J. Lewis(APT/AWF)、他

(3) 入力文書：5D/325(リージョン3ラポータ) Activities related to IMT-2000 and IMT-Advanced IN REGION 3

(4) 審議概要：

Region3参加国から、各国でのIMTの検討・導入状況ならびに本WP5D会合における最大関心事項を挙げてもらい、それに基づいて議論と情報・意見交換をする形で議事を進めた。議論の中で明らかになった各国の関心事項、その他の状況等は以下のとおりである。

①中国：

- 本年始めから政府再編が行われ、Ministry of Industry & Information Technology (MIIT)が発足した。
- 政府の再編に続き、従前の4つの大手通信オペレータがチャイナモバイル、チャイナテレコム並びにチャイナユニコムの3社に再編されているところである。チャイナユニコムはCDMAネットワークをチャイナテレコムに売却する一方、チャイナネットコムと合併してGSMのみのオペレータとなった。チャイナモバイルは鉄道通信会社を吸収する。
- 3Gのライセンスについてはまだアナウンスされていないが、TD-SCDMAもいれて3つになるかもしれない。3.9Gについても政府は何もアナウンスしていないが、cdma2000はLTEに移るかもしれない。

②韓国：

- Korea Communications Commission (KCC)が今年の2月に発足し、digital dividendを含めた全ての周波数計画の策定とITUでの標準化を担務としている。
- KCCはDTVのチャンネルアレンジメントの検討を推進中であり年内に完了予定。470-698MHz帯でのチャンネルアレンジメントの可能性が初期検討結果として示された。
- TTAはMobile Communication Technical Committee配下にIMT-Advanced標準化に関わる評価プロジェクトグループを設置した。

③ニュージーランド：

- 3GについてはVodafoneが2GHz帯でWCDMAを運用中。TelecomニュージーランドはこれまでCDMAを運用してきたが、新たにWCDMAを運用するとアナウンスした。LTEの導入はビジネス判断であり将来のこと。
- WiMAX(固定系)についてはオークション対象の2.3GHz、2.5GHz、3.4GHz帯での運用が考えられる。
- Region3のメンバーとなっている国は今後はJTG5-6対応で協力すべきである。

④マレーシア：

- 現在3オペレータが3Gの商用サービス開始済み。いずれも2.1GHz帯のHSDPA。今後、1オペレータが追加される予定。
- モバイルWiMAXも2.3GHz帯の10MHz帯域幅でつい最近商用開始済み。
- WP5Dソウル会合ではSpectrum AspectとM.1580/1581の改訂に関心あり。

⑤APT/AWF :

- AWFは本年8月に第5回会合を開催した。主な活動内容は以下のとおり。
 - APTメンバー国へ発出予定のdigital dividendの質問状を作成した。
 - 2.3~2.4GHz、2.5~2.69GHzの周波数アロケーション検討を行った。
 - 組織変更を行い、スペクトラムWG、IMTWG、コンバージョンWG、衛星アプリケーションTGに再編した。
- APT各国は今後はJTG5-6でのRegion1の検討に注意を払っていく必要がある。

⑥ベトナム :

- 現在は800MHz帯のGSMが主流。2GHz帯の3Gライセンスは今年中に出る予定。BWAは2.3~2.5GHz帯で。

⑦オーストラリア :

- IMT-2000についてはHSDPAが最大方式である。WiMAXはインプリー中である。
- オペレータとしてはTelstraが最大のNWを持つ。

日本からは、総務省が今年の7月に情報通信審議会から2GHz帯におけるTDD方式を活用した移動通信システムの技術的条件に関する一部答申を受けたこと、また情報通信審議会はIMT2000の高度化システムの技術的条件についても検討中であり、本年末頃に検討は完了する予定であることを説明した。さらにARIBにおいては高度無線通信研究委員会(ADWICS)配下に無線I/F提案検討会(RITSG)を設置し、8月の第1回会合にて原則とスケジュールについて議論し、概要提案募集(11/4締切)を開始したこと、9月の第2回会合にてそれまでに提出された3提案を基に2つの検討WGを作ったこと、今後、評価Gを設置予定であることを説明した。

7. 今後の予定等

7. 1 WP5D 及び関連会合の今後の開催予定

WP5D 及び関連の会合の今後の予定は以下のとおりである。

[WP5D の開催予定]

・ WP5D 第 4 回会合	Geneva	2009.02.10	—	2009.2.17
・ WP5D 第 5 回会合	[未定]	2009.6.10	—	2009.6.17
・ WP5D 第 6 回会合	[Germany]	2009.10.14	—	2009.10.21

[関連する会合の開催予定 (日程は ITU の Web から抜粋)]

JTG5-6	スイス (ジュネーブ)	2009.05.11	—	2009.05.15
WP5A	スイス (ジュネーブ)	2009.05.18	—	2009.05.27
SG5	スイス (ジュネーブ)	2009.05.29		
WP5A	スイス (ジュネーブ)	2009.11.23	—	2009.12.04
SG5	スイス (ジュネーブ)	2009.12.07	—	2009.12.08

7. 2 次会合に向けての日本のアクション事項

7. 2. 1 WG-SERVICE ASPECTS 関係

- ・ Femto cell の導入に伴い、Home base station の Global Circulation を考慮するため、勧告 ITU-R M.1579 の改訂提案、ならびに、Femto cell の Report 作成案が第3回会合で入力されている。関連勧告との関係や、各国ならびに外部団体の動向に注意しながら対処方針を検討する。

7. 2. 2 WG-TECHNOLOGY ASPECTS 関係

- ・ 勧告 M.1580/M.1581 の ACLR の取り扱いに関しては必要があれば次回会合に向け入力を行う。
- ・ 勧告 M.1457 に関しては必要であれば次回寄書入力する。
- ・ Femto Cell に関する Report 及び Global Circulation に関して技術的に必要があれば次回寄書入力する。

7. 2. 3 WG-SPECTRUM ASPECTS 関係

- ・ 周波数アレンジメント勧告 M.1036-3 の改訂や、698-960MHz 帯の周波数アレンジメントの策定に向けた新レポート案[IMT.700]の作成に対しては、我が国では、3400-3600MHz、及び 698-806MHz 帯域の一部を IMT に使用予定であることを踏まえ、適切に対処する必要がある。
- ・ レポート M.2039 の改訂案、及び 2.5GHz 帯の MBWA の共用検討新レポート案の完成に向けては、OFDMA TDD WMAN の ACS 及び ACLR に関わる各国のコンセンサスの形成が課題となっている。ACLR については IMT-2000 の不要発射に関する勧告 M.1580/1581 の改訂の議論と関係する可能性があり、必要に応じて WG-TECH と連携・調整する必要がある。
- ・ IMT 共用検討パラメータの議論については、WiMAX(FDD)の取扱の動向に関連しており、必要に応じて WG-TECH と連携・調整する必要がある。
- ・ 第 2 回会合に引き続き SG4 からのリエゾン文書（3400-3600MHz 帯における IMT の特定に関わる脚注における PFD 制限値の算出法に関するもの）はキャリアフォワードされたため、引き続き適切な対処を検討する必要がある。

付属資料1 参加国・機関と寄与文書数

参加国	参加者数	寄与文書数
オーストラリア	1	
オーストリア	1	
ブラジル	3	2
カメルーン	1	
カナダ	5	5
中国	15	9 (再掲 1)
コロンビア	1	
デンマーク	1	
エジプト	1	
フィンランド	5	4 (再掲 1)
フランス	5	5 (再掲 1)
ドイツ	8	7 (再掲 3)
ハンガリー	1	
イラク	2	
イタリア	2	2
日本	28	3 (再掲 1)
ケニア	1	
韓国	32	5 (再掲 1)
レバノン	2	
マレーシア	1	1 (再掲 1)
メキシコ	1	
ニュージーランド	2	4 (再掲 1)
ロシア	5	
スウェーデン	2	1
スイス	1	
マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	2	
チュニジア	2	
英国	7	2
米国	14	2
ベトナム	1	1 (再掲 1)
ジンバブエ	1	
シンガポール		1 (再掲 1)
小計	154	42

参加機関	参加者数	寄与文書数
チャイナモバイル	3	2(再掲 2)
フランステレコム	4	2(再掲 2)
E-plus	1(再掲 1)	
NDR	1(再掲 1)	
O2ドイツ	1(再掲 1)	
ZDF	1(再掲 1)	
テレコムイタリア	1(再掲 1)	7(再掲 7)
イーモバイル	2(再掲 2)	
KDDI	4(再掲 3)	
NTTドコモ	3(再掲 3)	4(再掲 4)
ソフトバンクモバイル	3(再掲 3)	
KT	5(再掲 3)	
SKテレコム	1	
テレフォニカ(スペイン)	1	
ブリティッシュテレコム	2(再掲 2)	
AT&T	1	7(再掲 4)
スプリントネクステル	1	
ノーテル	1	1(再掲 1)
アルカテル上海ベル	1(再掲 1)	
ファーウェイ	6(再掲 3)	2(再掲 2)
ZTE	1	
ノキア	2	5(再掲 5)
アルカテルルーセント(フランス)	2(再掲 1)	6
NSN	1(再掲 1)	5(再掲 5)
富士通	2(再掲 2)	
日立	1(再掲 1)	
パナソニック	1(再掲 1)	
三菱	2(再掲 1)	
NICT	1	
NEC	1(再掲 1)	
シャープ	1(再掲 1)	
東芝	1(再掲 1)	
ETRI	1(再掲 1)	
サムスン	6(再掲 3)	1(再掲 1)
エリクソン(スウェーデン)	7	9(再掲 7)
ボーダフォングループサービス	2(再掲 2)	
アジレント	1	
ITRI	2	
インテル(米国)	8(再掲 1)	
ルーセント	1	
モトローラ	1	4(再掲 4)
クアルコム	3	3(再掲 3)
European Radiocommunications Office	1	
IEEE	6(再掲 1)	3
UMTS Forum	1	
WiMAX Forum	2	7
APT	1	
ETSI	1(再掲 1)	1
Radiocommunication Bureau	1	
Alliance for Telecommunications Industry		1
Chairman of BWA Correspondence Group		1
Chairman of Technology Description Template Correspondence Group		1
Chairman, Working Party 3K		1
CITEL Rapporteur		1
Director, BR		3
ITU Region 1 (CEPT) Rapporteur		1
ITU-D Study Group 2		2
Region 2 Rapporteur		1
The Coordinator		1
Working Party 1A		1
Working Party 4B		1
Working Party 5D		1
World Meteorological Organization (WMO)		1
小計	60	40
合計	214	82

付属資料2 ITU-R WP5D第3回会合日本代表団名簿

区分	氏名	会社名・団体名	所属・役職
団長	坂中 靖志	総務省 総合通信基盤局	電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室長
副団長	佐藤 孝平	(社)電波産業会	常務理事
構成員	小畑 至弘	イー・モバイル(株)	専務執行役員
構成員	北 豊	イー・モバイル(株)	技術本部 技術企画部 技術企画 G
構成員	山口 博久	インテル(株)	研究開発本部 主幹研究員
構成員	橋本 明	(株)NTTドコモ	無線標準化推進室 室長
構成員	新 博行	(株)NTTドコモ	電波部電波企画担当 課長
構成員	吉野 仁	(株)NTTドコモ	総合研究所 研究推進グループ 主幹研究員
構成員	石田 和人	クアルコムジャパン(株)	標準化部長
構成員	菅田 明則	KDDI(株)	技術渉外室 電波部 企画・制度グループ 担当部長
構成員	小西 聡	KDDI(株)	KDDI 研究所 無線通信方式グループ 主任研究員
構成員	畑川 養幸	KDDI(株)	KDDI 研究所 無線通信方式グループ 研究員
構成員	森脇 鉄朗	シャープ(株)	研究開発本部 標準化戦略推進室 主事
構成員	小松 裕	ソフトバンク モバイル(株)	モバイルネットワーク本部 ネットワーク統括部 電波部 課長
構成員	藤井 輝也	ソフトバンク モバイル(株)	ワイヤレスシステム研究開発センター センター長
構成員	太田 喜元	ソフトバンク モバイル(株)	ワイヤレスシステム研究開発センター アンテナ伝搬信号処理グループ
構成員	小林 誠	(株)東芝	東芝 モバイルコミュニケーション社 NMD 開発統括部 NMD ソフトウェア設計部参事
構成員	本多 美雄	日本エリクソン(株)	技術本部 標準化・レギュレーション担当部長
構成員	鬼頭 英二	日本電気(株)	モバイルネットワーク事業企画部 エグゼクティブエキスパート
構成員	伊藤 健司	ノキアシーメンス ネットワークス(株)	テクノロジープラットフォーム 標準化担当部 シニアスペシャリスト
構成員	朱 厚道	ノキアジャパン(株)	標準化スペシャリスト 標準化担当部
構成員	石川 禎典	(株)日立製作所	Network Platform 事業推進室 主任技師

構成員	林 律雄	富士通(株)	モバイルシステム事業本部 標準化推進部
構成員	東 充宏	富士通(株)	富士通研究所 ネットワークシステム研究所 主幹研究員
構成員	吉井 勇	パナソニック(株)	東京R&Dセンター 次世代モバイル開発センター 主任技師
構成員	佐藤 一美	三菱電機(株)	通信システム事業本部通信システムエンジニアリングセンター 戦略事業推進グループ 担当部長
構成員	広池 彰	(社) 電波産業会	研究開発本部 移動通信グループ 担当部長
構成員	白石 基	(社) 電波産業会	研究開発本部 移動通信グループ 主任研究員

付属資料3 日本寄書等の審議結果

項 目	日本寄書等	内 容	結 果
WG-TECH	Doc. 5D/271	<p>本寄与文書は、IMT-Advanced の無線インタフェースの評価手法を規定するレポート M.[IMT.EVAL]のうち、第7～8章の改訂を提案するものである。</p> <p>なお、本寄与文書は韓国との共同寄与文書となっているが、提案内容のほとんどが日本からの提案となっている。</p>	<p>本寄与文書で提案した10項目の改訂提案のほとんどが、最終版の M.[IMT.EVAL]で採用された。採用されなかったのは、BSのアンテナ利得の値（提案は14dBiであったが、最終的にはWiMAX Forumが提案した17dBi）である。しかしながら、17dBiには2dB分のCable lossが含まれていなかったこと、また、アンテナ利得値の提案目的は、シミュレーションで共通の値を使用させることであり、値自体は固執するものではなかったため、事実上、問題ない。</p>
WG-TECH	Doc. 5D/272	<p>本寄与文書は、技術記述テンプレートの修正提案を行っている。</p> <p>提案の要点は下記のとおりである。</p> <p>(1) テンプレートの導入テキストの修正</p> <p>(2) 技術記述テンプレートのフォーマット</p> <p>第5章への参照目的で付け加えられたSourceの欄を削除することを提案する。もっとも階層が上のレベルで、A1「RITを記述するための項目」と、A2「評価に関する項目」との2分類を設けるべきとして、新たにA2「評価に関する項目」を追加することを提案している。</p> <p>(3) RITを記述するための項目を精査整理し、重複項目の削除と類似関連項目のグループ化を提案している。</p> <p>(4) 新たにA2「評価に関する項目」として、下記の4つを提案している。</p> <p>(i)パケットの遅延分布、(ii)周波数繰り返し数が1でないときの詳細なシミュレーション方法、(iii)回線設計に関するテンプレートに関する事項、(iv)アンテナのチルト角</p>	<p>本寄書はWG-TECH, SWG-Radio Aspectsで討議され、本提案の考え方に沿って技術記述テンプレートが修正された。</p> <p>(1) テンプレートの導入テキストについては、他の同様の提案とともに議論され、日本の提案主旨に沿ってテキストが修正された。</p> <p>(2) フォーマットについては、評価に関する項目を別分類(A2)とする日本の提案は項目内容についての議論に時間をとり、十分な議論がされず採用されなかった。その他のフォーマットの修正については採用された。</p> <p>(3) 他の入力寄書とともに審議され、日本提案の主旨に沿って項目が修正された。</p> <p>(4) 日本提案の新項目(4つ)では、パケットの遅延分布の記述は採用されなかったが、他の3つの項目は支持を得て採用された。</p>
WG-TECH	Doc. 5D/273	<p>本寄与文書は、勧告 ITU-R M.1580-2 / M.1581-2の改訂にあたって、両勧告が作られた背景を明らかにし、Annex1 (CDMA DS)、Annex3 (CDMA TDD)における ACLR 規定の必要性を述べたものである。ACLR が必要である理由は、日本の無線設備規則と両勧告との整合性を維持するためである。</p>	<p>Annex1 (CDMA DS)、Annex3 (CDMA TDD) の ACLR 規定については日本のみならず、他国、セクターメンバーからも削除しないことを求める寄与文書が入力され、削除されないことになった。勧告の背景については共通理解を得ることが難しく、勧告の改訂作業は次回会合でも継続されることになった。</p>

付屬資料4 入力文書一覽 (1/6)

Doc.	TITLE	Source
5D/101	Liaison statement to WP 5D for action and to JTG 5-6 for information - Sharing studies between ARNS and mobile service stations in the 790-862 MHz frequency band on WRC-11 A.I. 1.17	carried forward
5D/107	Liaison statement to Working Party 5D (copy for information to the WiMAX Forum) - Parameters to be used in sharing studies for the IEEE 802.16E technology	carried forward
5D/117	Liaison statement to Working Parties 7A, 7B, 7C, 7D, 4A, 4B, 6D, 6X, 6G, 1A, 1B, 1C, 5A, 5B, 5C and 5D (copy for information to Working Parties 3J, 3K, 3L and 3M) - Information for studies related to WRC-11 Agenda item 1.25	carried forward
5D/118	Liaison statement to relevant Working Parties of Study Group 5 - Methodology for determining whether a transmit IMT station meets the pfd limit in provisions of the Radio Regulations	carried forward
5D/131	Liaison statement to Working Parties 5D, 5B and 5C and for information to Joint Task Group 5-6 - Sharing studies between IMT and the primary services, including broadcasting, to which the UHF band is allocated	carried forward
5D/166	Call for IMT parameters in the band 790-862 MHz	carried forward
5D/242	Report of the 2 nd meeting of Working Party 5D (Dubai, 24 June – 1 July 2008)	Working Party 5D
5D/243	Liaison statement to relevant Working Parties of Study Groups 3, 4, 5, 6, 7 – Information on short-range devices required for WRC-11 Agenda item 1.22	Working Party 1A
5D/244	Parameters of radio interface technologies	Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)
5D/245	Further response on IMT-2000 TDD WMAN ACS values	Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)
5D/246	Updated material on IMT-2000 OFDMA TDD WMAN for Revision 9 of Recommendation ITU-R M.1457	Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)
5D/247	Proposed amendments to Recommendations ITU-R M.1580-2 and ITU-R M.1581-2 for CDMA-MC	Director, BR
5D/248	Preliminary update material for CDMA MC for Recommendation ITU-R M.1457-9, Section 5.2.1	Director, BR
5D/249	Response to liaison entitled “Request for parameters of IMT radio interface technologies following WRC-07”	Director, BR
5D/250	Preliminary WMO position on WRC-11 agenda	World Meteorological Organization (WMO)
5D/251	Updated material for inclusion into the draft working document to revision(s) of Recommendation ITU-R M.1036-3 – Frequency arrangements for implementation of the terrestrial component of International Mobile Telecommunications (IMT)	Alcatel-Lucent, Huawei Technologies, Nortel Networks (USA), Qualcomm Inc.
5D/252	Updates to draft technology description template	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

付属資料4 入力文書一覧 (2/6)

Doc.	TITLE	Source
5D/253	DECT information regarding the update of Recommendation ITU-R M.1457	European Telecommunications Standard Institute
5D/254	Response to request for parameters of IMT radio interface technologies following WRC-07 – UHF parameters	WiMAX Forum
5D/255	Proposed modifications to IMT-Advanced technology description template	WiMAX Forum
5D/256	Proposed amendments in draft new Report ITU-R M.[IMT.EVAL]	WiMAX Forum
5D/257	Adding the 2 300 to 2 400 MHz and 3 400-3 600 MHz band to Annex 6 of Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581	WiMAX Forum
5D/258	Further correspondence on OFDMA TDD WMAN BS and MS ACS values	WiMAX Forum
5D/259	On update of Recommendations ITU-R M.1580-2 and ITU-R M.1581-2	WiMAX Forum
5D/260	Updated material on IMT-2000 OFDMA TDD WMAN for Revision 9 of Recommendation ITU-R M.1457	WiMAX Forum
5D/261	U.S. proposal to IMT-Advanced technology description template	United States of America
5D/262	Progression of the work on Recommendation ITU-R M.1457-9 introduction	United States of America
5D/263	Towards finalization of ITU-R M.[IMT.EVAL]	Sweden
5D/264	Completion of technology description template [IMT.TECHTEMPLATE]	Canada
5D/265	ITU-R M.[IMT.EVAL]	Canada
5D/266	Proposed amendments to the first paragraph of the introduction to Recommendation ITU-R M.1457	Canada
5D/267	Update to Working Party 5D Terms of Reference and long-range work plan	Canada
5D/268	Update of Recommendation ITU-R M.1036	Canada
5D/269	Proposed new Report on aspects of the IMT frequency arrangements in the 698-960 MHz band	Canada
5D/270	IMT-2000 TDMA-SC roadmap update	Alliance for Telecommunications Industry Solutions
5D/271	A proposal of amendments in Chapters 7 and 8 of preliminary draft new Report ITU-R M.[IMT.EVAL]	Korea (Republic of), Japan
5D/272	Proposed modification to technology description template	Japan
5D/273	Views on adoption of ACLR provision for the update of Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581	Japan
5D/274	Proposed correction of Annex 3 in ITU-R M.[IMT.EVAL]	Telefon AB - LM Ericsson
5D/275	Proposal for inclusion in a revision of Recommendation ITU-R M.1036-3 – Frequency arrangements for the terrestrial component of International Mobile Telecommunications (IMT)	Telefon AB - LM Ericsson
5D/276	Report of BWA Correspondence Group activity between the 2 nd and 3 rd meetings of Working Party 5D	Chairman of BWA Correspondence Group
5D/277	Update on CITELEPCC.II activities	CITELEPCC.II Rapporteur

付屬資料4 入力文書一覽 (3/6)

Doc.	TITLE	Source
5D/278	Structure of technology description template for placement in draft new Report ITU-R M.[IMT.REST]	AT&T, Inc.
5D/279	Finalization of draft new Report ITU-R M.[IMT.EVAL]	AT&T Inc., China Mobile Communications Corporation, France Télécom, Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, Samsung Electronics Co. Ltd, Telefon AB-LM Ericsson, Telecom Italia S.p.A.
5D/280	Frequency arrangements for 698-960 MHz	New Zealand
5D/281	Frequency arrangements for 2 300-2 400 MHz	New Zealand
5D/282	Draft scopes for Recommendations ITU-R M.1456, ITU-R M.1545, ITU-R M.1579 and ITU-R M.1646	New Zealand
5D/283	Proposed revision of the technology description template	Korea (Republic of)
5D/284	Proposal to work plan for revision(s) of Recommendation ITU-R M.1036-3	Korea (Republic of)
5D/285	Information on the study on frequency arrangement for 2 300-2 400 MHz in AWF	China (People' s Republic of), Korea (Republic of), Malaysia, New Zealand, Singapore (Republic of) and Viet Nam (Socialist Republic of)
5D/286	Revision of long range workplan of Working Party 5D	Korea (Republic of)
5D/287	Technology description template (Step 2, Step 4 and Step 6)	AT&T Inc., China Mobile Communications Corporation, France Télécom, Telefon AB-LM Ericsson, Telecom Italia S.p.A.
5D/288	Update submission for IMT-2000 CDMA DS and IMT-2000 CDMA TDD toward Revision 9 of Recommendation ITU-R M.1457	Alcatel-Lucent France, AT&T Inc., Telefon AB-LM Ericsson, Motorola Inc., Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, NTT DoCoMo Inc., Telecom Italia S.p.A.

付屬資料4 入力文書一覽 (4/6)

Doc.	TITLE	Source
5D/289	Proposed revision of Recommendation ITU-R M.1580-2 on IMT-2000 CDMA DS and IMT-2000 CDMA TDD	Alcatel-Lucent France, AT&T Inc., Telefon AB-LM Ericsson, Motorola Inc., Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, NTT DoCoMo Inc., Telecom Italia S.p.A
5D/290	Proposed revision of Recommendation ITU-R M.1581-2 on IMT-2000 CDMA DS and IMT-2000 CDMA TDD	Alcatel-Lucent France, AT&T Inc., Telefon AB-LM Ericsson, Motorola Inc., Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, NTT DoCoMo, Inc., Telecom Italia S.p.A.
5D/291	Initial 3GPP submission of a candidate IMT-Advanced technology	Alcatel-Lucent France, AT&T Inc., Telefon AB-LM Ericsson, Huawei Technologies Co. Ltd, Motorola Inc., Nokia Corporation, Nokia Siemens Networks GmbH & Co. KG, NTT DoCoMo Inc., Telecom Italia S.p.A.
5D/292	Answer to ITU-R WP 5D “Liaison statement to external organizations – Request for parameters of IMT radio interface technologies following WRC-07”	Alcatel-Lucent France, Telefon AB-LM Ericsson, Qualcomm Inc., Telecom Italia S.p.A.
5D/293	Towards finalization of technology description template	Germany (Federal Republic of), Finland and France
5D/294	Proposed modifications to Attachment 5.16 of Document 5D/242 – (Draft working document to revision of Recommendation ITU-R M.1036-3)	Germany (Federal Republic of)
5D/295	Proposed update to Recommendation ITU-R M.1579	Germany (Federal Republic of)
5D/296	Proposed modifications to the Working Party 5D TOR	Germany (Federal Republic of)
5D/297	Update on recent activities within CEPT	ITU Region 1 (CEPT) Rapporteur
5D/298	Mobile service parameters in the 790-862 MHz band	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland

付屬資料4 入力文書一覽 (5/6)

Doc.	TITLE	Source
5D/299	Proposal for the revision of the introduction of Recommendation ITU-R M.1457	Italy
5D/300	Proposal for the revision of Recommendations ITU-R M.1580 and ITU-R M.1581	Italy
5D/301	Revision of Recommendation ITU-R M.1457-8	France, Germany (Federal Republic of)
5D/302	Mobile service parameters in the 790-862 MHz band	France
5D/303	Liaison statement – Proposal on the role of telecommunication/ICT to be used for an integrated ICT network to monitor the avian influenza	ITU-D Study Group 2
5D/304	Proposal to keep spurious emission in the situation of coexistence in Recommendations ITU-R M.1580/M.1581	China (People's Republic of)
5D/305	Proposal to keep ACLR in Recommendations ITU-R M.1580/M.1581	China (People's Republic of)
5D/306	Proposed revisions for draft new Report ITU-R M.[IMT.REST]	China (People's Republic of)
5D/307	Proposed frequency arrangement in 2 300-2 400 MHz band for inclusion in the revision of Recommendation ITU-R M.1036-3	China (People's Republic of)
5D/308	Proposed amendments to technology description template	China (People's Republic of)
5D/309	Proposal to keep important parameters in Recommendations ITU-R M.1580/M.1581	China (People's Republic of)
5D/310	Proposed revisions for draft new Report [Guidelines for evaluation of radio interface technologies for IMT-Advanced]	China (People's Republic of)
5D/311	Considerations for revision of Recommendation ITU-R M.1036-3	Finland
5D/312	Editorial comments on channel models of ITU-R M.[IMT.EVAL]	Finland
5D/313	Software implementation of IMT.EVAL channel model	Finland and China (People's Republic of)
5D/314	Proposed amendments to Section 7.2 of PDNR IMT.EVAL	Qualcomm, Inc.
5D/315	ACS values for the OFDMA WMAN TDD interface	France, Germany (Federal Republic of)
5D/316	Revisions of Recommendations ITU-R M.1580-2 and ITU-R M.1581-2	France, Germany (Federal Republic of)
5D/317	Comments on the draft working document to revision(s) of Recommendation ITU-R M.1036-3	Brazil (Federative Republic of)
5D/318	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[IMT.FEMTO]	Brazil (Federative Republic of)
5D/319	Liaison statement – Revised structure of the Final Report of Question 18-1/2	ITU-D Study Group 2
5D/320	Update on standards activities	Region 2 Rapporteur
5D/321	Report from Workshop on IMT-Advanced	The Coordinator
5D/322	Liaison statement to Working Parties 5A, 5C, 5D and 6A on preliminary draft new Question ITU-R [Hybrid]/4 – System architecture and performance aspects on hybrid satellite and terrestrial systems	Working Party 4B

付属資料4 入力文書一覧 (6/6)

Doc.	TITLE	Source
5D/323	Report of Correspondence Group	Chairman of Technology Description Template Correspondence Group
5D/324	Liaison statement to Working Party 5D - Propagation models needed for the development of frequency arrangements and for use in compatibility studies at UHF frequencies	Chairman, Working Party 3K
5D/325	Activities related to IMT-2000 and IMT-Advanced in Region 3	Region 3 Rapporteur

付属資料5 出力文書一覧 (1/3)

Doc. 5D/TEMP/	Title	Source	Staus
97R1	Liaison statement to ITU-T SG 15 on ANTS	WG Technology Aspects	1、□、a
98R1	Overview of WP 5D work	WG Service Aspects	2、ハ、a
99R1	Draft new Report ITU-R M.[IMT.EVAL] – Guidelines for evaluation of radio interface technologies for IMT-Advanced	WG Technology Aspects	2、イ、a
100	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[IMT.700] – Aspects of the IMT frequency arrangements in the 698-960 MHz band	WG Spectrum Aspects	1、イ、f
101R2	Liaison statement to Working Party 1A – Information on short-range devices required for WRC-11 Agenda item 1.22	WG Spectrum Aspects	2、□、a
102R1	Liaison statement to Working Party 4C – Information related to WRC-11 Agenda item 1.25	WG Spectrum Aspects	1、□、a
103R1	Detailed workplans of SWG Sharing – Proposed modifications for the consideration of SWG Sharing	WG Spectrum Aspects	1、ハ、f
104	Liaison statement to Working Party 3K – Propagation models needed for the development of frequency arrangements and for use in compatibility studies at UHF frequencies	WG Spectrum Aspects	1、□、a
105	Liaison statement to Working Party 5A (copy for information to the WiMAX Forum) – Parameters to be used in sharing studies for the IEEE 802.16e technology	WG Spectrum Aspects	1、□、a
106	Work program plan for IMT	WG Service Aspects	1、ハ、a
107R1	Link budget template	WG Technology Aspects	1、イ、a
108R2	Liaison statement to WP 5B (copy for information to WPs 5A, 6A) – IMT Parameters in the 790-862 MHz frequency band	WG Spectrum Aspects	2、□、a
109R2	Draft liaison statement to external organizations – Parameters of IMT radio interface technologies following WRC-07	WG Spectrum Aspects	2、□、a
110	Working document towards a revision of Report ITU-R M.2039 – Characteristics of terrestrial IMT-2000 systems for frequency sharing/interference analyses	SWG Sharing	1、イ、f
111R1	Liaison statement to the WiMAX Forum – Further correspondence on ACS	WG Spectrum Aspects	1、□、a
112	Liaison statement to 3GPP (copy for information to IEEE) – Question on test condition for adjacent channel selectivity	WG Spectrum Aspects	2、□、a
113R1	Detailed work plan for revision(s) of Recommendation ITU-R M.1036-3	SWG Frequency Arrangements	1、ハ、f
114	Meeting Report of Working Group Developing	Chairman, WG Developing	1、ハ、c
115R1v2	Draft revision of Report ITU-R M.2113 – Report on sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and fixed broadband wireless access systems including nomadic applications in the same geographical area	WG Spectrum Aspects	2、イ、a
116	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1036-3 – Frequency arrangements for implementation of the terrestrial component of International Mobile Telecommunications (IMT) in the bands identified for IMT in the Radio Regulations (RRs)	SWG Frequency Arrangements	1、イ、f

付属資料5 出力文書一覧 (2/3)

Doc. 5D/TEMP/	Title	Source	Staus
117R1	Meeting Report of Sub-Working Group Frequency Arrangements	Chairman, SWG Frequency Arrangements	1、ハ、d
118	Working document towards a preliminary draft new Report on coexistence between IMT-2000 CDMA-DS and IMT-2000 OFDMA-TDD-WMAN in the 2 500-2 690 MHz band operating in adjacent bands in the same geographical area	SWG Sharing	1、イ、f
119	Recommendation ITU-R M.1457-7 – Detailed specifications of the terrestrial radio interfaces of International Mobile Telecommunications-2000 (IMT-2000)	SWG M.1457	1、イ、f
120	Proposed modifications to Sections 5.2.1 and 5.6.1 of Recommendation ITU-R M.1457	SWG M.1457	1、イ、f
121	Roadmap for current work relevant to future updates of Recommendation ITU-R M.1457	SWG M.1457	1、イ、f
122	Note to Study Group 5 on Question on “Global roaming capability of the sixth interface (OFDMA-TDD)”	WG Technology Aspects	2、ロ、a
123	Meeting Report of Sub-Working Group Evaluation	Chairman, SWG Evaluation	1、ハ、d
124	Meeting Report Sub-Working Group Sharing	Chairman, SWG Sharing	1、ハ、d
125	Meeting Report Sub-Working Group M.1580/81	Chairman, SWG M.1580/81	1、ハ、d
126	Detailed workplan for “Update of Recommendations ITU-R M.1580-2 and ITU-R M.1581-2”	Tech SWG M.1580/81	1、ハ、f
127R1	Liaison statement to external organizations – Request for information for Recommendations ITU-R M.1580/M.1581 (unwanted emission characteristics)	WG Technology Aspects	1、ロ、a
128	Working document towards the draft revision of Recommendation ITU-R M.1580-2 – Generic unwanted emission characteristics of base stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	SWG M.1580/M.1581	1、イ、f
129	Working document towards the draft revision of Recommendation ITU-R M.1581-2 – Generic unwanted emission characteristics of mobile stations using the terrestrial radio interfaces of IMT-2000	SWG M.1580/M.1581	1、イ、f
130	Liaison statement to Working Parties 5A and 5C – Draft revision of Report ITU-R M.2113 – Sharing studies in the 2 500-2 690 MHz band between IMT-2000 and fixed broadband wireless access systems including nomadic applications in the same geographical area	WG Spectrum Aspects	1、ロ、a
131	Meeting Report of Ad Hoc Workplan	Chairman, AH Workplan	1、ハ、c
132	Note to Study Group 5 – Analytical list of the Recommendations within Working Party 5D	AH Workplan	1、ロ、a
133	Chapter 2 - ITU-R Working Party 5D Structure and Workplan	AH Workplan	2、ハ、a
134R2	Description Template for Section 4.2.3 of drat New Report ITU-R M.[REST]	Sub-Working Group Radio Aspects	1、イ、a

付属資料5 出力文書一覧 (3/3)

Doc. 5D/TEMP/	Title	Source	Staus
135	Meeting Report of Sub-Working Group M.1457	Chairman, SWG M.1457	1、ハ、d
136	Meeting Report	Sub-Working Group Radio Aspects	1、ハ、d
137	Meeting Report	Chairman, WG Spectrum Aspects	1、ハ、c
138	Meeting Report	Chairman, WG Service Aspects	1、ハ、c
139	Meeting Report	Chairman, WG Technology Aspects	2、ハ、c

*分類

1 : 無修正 2 : Editorial change 有

イ : 勧告案、レポート案、ハンドブック ロ : リエゾン文書、サーキュラーレター ハ : internal 文書
ニ : Question、Resolution、CPM レポート案

a : WP5D として承認 b : WP5D として合意 c : WP5D としてノート
d : WP5D PL 審議対象外 e : WP5D として削除 f : キャリーオーバー

